

旧津市白銀環境清掃センター解体（第三期）工事

図面リスト							
建築工事				電気設備工事		機械設備工事	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	表紙、図面リスト	A-33	機械設備 (12)	E-1	電気設備 配置図	M-1	機械設備 撤去 配置図
A-2	特記仕様書 1	A-34	機械設備 (13)	E-2	キューブ式高圧受変電設備 撤去図	M-2	機械設備 撤去 リサイクルラザ (平面図)
A-3	特記仕様書 2	A-35	機械設備 (14)				
A-4	配置図	A-36	機械設備 (15)				
A-5	解体施設リスト	A-37	機械設備 (16)				
A-6	リサイクルラザ (仕上表・平面図)	A-38	機械設備 (17)				
A-7	リサイクルラザ (平面図)	A-39	機械設備 (18)				
A-8	リサイクルラザ (歩廊・階段配置図1、ハル詳細図1)	A-40	機械設備 (19)				
A-9	リサイクルラザ (歩廊・階段配置図2)	A-41	仮設計画図				
A-10	リサイクルラザ (歩廊・階段配置図3、ハル詳細図2)						
A-11	リサイクルラザ (断面機器配置図)						
A-12	リサイクルラザ (立面図)						
A-13	リサイクルラザ (基礎伏図・梁伏図)						
A-14	リサイクルラザ (基礎詳細図1)						
A-15	リサイクルラザ (基礎詳細図2)						
A-16	リサイクルラザ (軸組図)						
A-17	外構撤去図 1						
A-18	外構撤去図 2						
A-19	外構撤去図 3						
A-20	撤去後配置図 1						
A-21	撤去後配置図 2						
A-22	機械設備 (1)						
A-23	機械設備 (2)						
A-24	機械設備 (3)						
A-25	機械設備 (4)						
A-26	機械設備 (5)						
A-27	機械設備 (6)						
A-28	機械設備 (7)						
A-29	機械設備 (8)						
A-30	機械設備 (9)						
A-31	機械設備 (10)						
A-32	機械設備 (11)						

解体工事特記仕様書

- I. 工事名 旧津市白銀環境清掃センター解体（第三期）工事
 II. 工事概要
 1 工事場所 津市 片田中町 地内
 2 工事内容 棟名称 リサイクルプラザ
 構造 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 平家建
 建築面積 1,368㎡
 延べ面積 1,387㎡
 工事項目 解体工事

III. 解体工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、最新版）による。

2 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 2) 特記事項は、○の付いたものを適用する。
 3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は解共仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項																	
①	① 適用基準	<p>本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書・同解説」（最新版） ○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準詳細図」（最新版） ○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 ○その他関係法令 																	
	② 発生材の処理等 (1.3.10) (4.4.1) (5.4.1)	<p>・ 本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事等であって、その規模が、建設リサイクル法施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。</p> <p>工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業の有無</th> <th>分別解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築設備・内装材等</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>屋根ふき材</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>外装材・上部構造部分</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>基礎・基礎ぐい</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>その他（スリット）</td> <td>○ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>引き渡しを要するもの ・ 無 ・ 金属類 ・ PCB含有物 ○（仮設便所） 特別管理産業廃棄物 ・ 有（ ） 処理方法（ ） 木材の縮減 ・ 実施する （最も近い再資源化施設までの距離が50kmを超える場合に限り） 再資源化し現場で利用する建設廃棄物 ・（ ） 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材 ・ 金属類 ・ 小形二次電池 ・ 蛍光灯及びHIDランプ ・ 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ・ ガラス</p>	工程	作業の有無	分別解体等の方法	建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用	その他（スリット）	○ 有 ・ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																	
建築設備・内装材等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
屋根ふき材	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
外装材・上部構造部分	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	
その他（スリット）	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用																	

③ 建設副産物情報交換システムの利用

引渡しを要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

受注者は受注時において延べ面積が80㎡以上の解体工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」、「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。
 また、工事着手前にJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」ヘデータを入力し、工事完了時にはシステムへ実績報告を行うこと。

④ 三重県 産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には、完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に、別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して、当該工事の発注者に対して、支払請求を行うことができる。
 なお、この期間を超えて請求することはできない。
 また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。

⑤ 工事実績情報の登録 (1.1.4)

○ 適用する（請負金額が500万円以上の場合）
 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督員に提出すること。

6 電気保安技術者 (1.3.3)

・ 適用する

⑦ 疑義

設計図書に明記のない場合、または、疑義が生じた場合は、監督員と協議し、その指示を受けてから施工すること。

⑧ 施工条件 (1.3.5)

○ 監督員と協議し決定する。
 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり
 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時 ～ 時
 部位別の施工順序 ・ 指定なし ・ （ ）
 工事車両の駐車場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ）
 資機材置場 ・ 指定なし ・ 図示（図面番号： ）

⑨ 官公庁手続

工事に必要な手続きは受注者が速やかに処理し、この手続きに関する諸費用は受注者負担とする。

⑩ 危険災害の防止

1) 工事期間中、現場内入場者、近隣居住者および周辺建物に危害を与えぬよう注意すること。万一、紛争が生じた場合は、受注者が誠意をもって解決すること。
 なお、近隣等との折衝は、あらかじめその概要を監督員に報告し、その経過については記録し、遅滞なく監督員に報告する。
 2) 工事期間中は常時、交通整理のための誘導員を配置すること。

⑪ 工事進入路

重機搬出入、産業廃棄物搬出経路については事前に施工計画書を提出し、監督員の承認を得ること。また、工事現場から搬出入する土砂により工事用進入路を汚した場合は、速やかに清掃を行うこと。

⑫ 工事写真

1) 着工前：解体建物・敷地周辺・付近道路・工作物の撮影を行うこと。
 2) 工事中：随時撮影を行うほか、監督員の指示による。

⑬ 完成写真

写真は着工前・施工中・完成を同一場所から黒板なしで撮影すること。

⑭ 事故報告

工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により、工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、提出すること。
 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑮ 提出書類

施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報及び、その他市監督員の指示するものとする。
 施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他市監督員の指示するものを添付すること。

⑯ 産業廃棄物

施工計画書には、工事現場から産業廃棄物処理場までの運搬経路、産業廃棄物処理契約書の写し、産業廃棄物収集運搬業者及び産業廃棄物処理業者許可書の写し、その他監督員の指示するものを添付すること。

⑰ 地下埋設物の確認

監督員立会いのもと、地下埋設物の確認を受けること。
 確認時期は、監督員と協議し決定する。

⑱ その他

・ 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
 ・ 作業着手までの調査は、事前に施設管理者及び、市監督員と協議するものとする。
 ・ 敷地内、周辺での作業・通行等は周辺住民の安全確保に十分配慮すること。
 ・ 安全対策のため、作業終了時及び休工時は出入口（既設門扉）を施錠すること。
 ・ 作業着手前には、現状状況把握の為に破損箇所等があれば、市監督員の立会いのもと写真等に記録しておくこと。
 また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担において速やかに復旧するとともに市監督員に報告すること。
 ・ 設計書に明記がなくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるもの、並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
 ・ 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
 ・ 緊急且つ必要な場合において、市監督員以外（施設管理者等）が直接受注者に指示することがある。
 その場合は当該指示に従うこと。
 ・ 廃材、残土等の搬出にあたっては、周辺道路を汚さないよう当然に無理な積込みは行わないこと。
 ・ 工事車両等の出庫時は、タイヤ清掃等を行うなど、工事敷地からの土砂の流出抑制に心掛けること。
 ・ 喫煙は限られた場所のみとし、現場内は禁煙とする。
 ・ 建物付属物については特記なき限り記載の有無に関わらず全て撤去処分とする。
 ・ 植栽は全て伐採・伐根とし、業者処分とする。
 ・ 備品・生活用品等については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。
 ・ 埋設配管については特記なき限り記載の有無に関わらず撤去処分とする。
 ・ 本工事の同時期に、敷地内にて覆土工事が本工事範囲通行するため、施工業者と互いに協力し、工事の遂行に影響のないよう進めること。
 ・ 通路拡張に伴う整地の上砕石敷き均し、ネット撤去・鋼製ポール撤去・目隠しフェンス撤去については、8月1日までに完了すること。
 ・ 保管砕石については、通路拡張後敷き均し部及び、コンクリート舗装撤去後工事用進入路部の補修に利用することとし、残った保管砕石は、現場内敷均しとすること。
 ・ 当施設では産業廃棄物埋立地跡に建設されており可燃性ガス等が検出される恐れがあるため、ガス濃度計測者を定め適時の計測を行い現場の安全に配慮すること。
 ・ 当工事では土間で可燃性ガスが滞留している恐れがあるため、撤去前には適時濃度測定を行い測定値が基準値以下であることを確認し作業を開始するものとする。
 可燃性ガス濃度測定値については、監督員に報告すること。
 ・ また、解体時には常時研り箇所には散水と送風機による換気を行い、可燃性ガス濃度を希釈し安全に努めること。
 ・ 可燃性ガス濃度が基準値以上検出された場合、工事を一時中止し監督員と協議すること。
 ・ なお、その他詳細な解体作業手順、基準値等は、「最終処分場跡地形質変形に係る施工ガイドライン」に準拠すること。

原図：A2

■memo

■check
 client
 architect
 contractor

■scale

■drawing title

特記仕様書 1

■project title

旧津市白銀環境清掃センター解体（第三期）工事

Kisho
 Architectural
 Design Office

一級建築士 登録第146490号
 一級建築士事務所 登録第1-169号
 (有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
 管理建築士：山田 賢治

■drawing no.

■sheet no.

A-2

章	項目	特記事項																																																								
2 仮設工事	① 仮設トイレ	構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない																																																								
	2 仮囲い	位置 ・ 図示 (図面番号:) ・ その他 () 仕様 ・ 図示 (図面番号:) ・ 成形鋼板H=3000 ・ 成形鋼板H=2000 ・ その他 ()																																																								
	3 監督員事務所 (2.3.1)	・ 設置する。 監督員事務所の規模 (単位: m ²) <table border="1"> <tr><th>適用規模</th><th>10程度</th><th>20程度</th><th>35程度</th><th>65程度</th><th>100程度</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 監督職員事務所の仕上げ <table border="1"> <tr><th>部位等</th><th>仕 上 げ</th></tr> <tr><td>床</td><td>合板張り又はビニール床シート張り</td></tr> <tr><td>内壁・天井</td><td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り</td></tr> <tr><td>屋根</td><td>溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr> </table> 備品等の設置 <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>机・いす</th><th>書棚</th><th>黒板・白板</th><th>掛時計</th><th>温度計</th></tr> <tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr> <tr><th>種類</th><th>長靴</th><th>雨合羽</th><th>保護帽</th><th>懐中電灯</th><th>衣類ロッカー</th></tr> <tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr> <tr><th>種類</th><th>消火器</th><th>掃除具</th><th>受注者加入電話・FAX</th><th>インターネット</th><th>冷暖房機器</th></tr> <tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr> </table>	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度							部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニール床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り	屋根	溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台
	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																																				
	部位等	仕 上 げ																																																								
	床	合板張り又はビニール床シート張り																																																								
	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り																																																								
	屋根	溶融垂鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																								
	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																																				
	数量	組	台	個	個	個																																																				
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																																					
数量	足	着	個	個	台																																																					
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																																					
数量	個	個	台	台	台																																																					
④ 工事用水	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 取出位置 ・ 図示 (図面番号:) 工事に起因する用水は、本工事に含まれる。																																																									
⑤ 工事用電力	構内既存の施設 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、通電した時から、工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。																																																									
⑥ 騒音・粉じん等の対策 (2.2.1)	○ 設ける ・ 防音パネル ・ 防音シート ○ 養生シート 適用範囲、高さ等 図示 (図面番号:) ・ 設けない																																																									
7 仮設鉄板敷	・ 工事用進入路の養生として、鉄板 (t=22) を敷き、養生を行うこと。 位置 ・ 図示 (図面番号:)																																																									
⑧ 使用重機	「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																																									
⑨ 散水養生	解体作業時には粉塵等の飛散を防ぐため、散水養生を行うこと。																																																									
⑩ 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月)」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組み立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。																																																									
⑪ 損傷を与えた場合の対応	解体工事により解体建築物以外の建築物や舗装、樹等に損傷を与えた場合には、監督員に報告するとともに、受注者の責任において原形復旧を行うこと。																																																									

3 解体施工	1 浄化槽、排水槽等 (3.2.1)	汚水、汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う ・ 行わない									
	2 杭の撤去 (3.9.2)	杭の撤去 ・ 行う ・ 行わない 解体方法 ・ 引抜き工法 (・ 振動 ・ ケーシング ・ ()) ・ 破砕 ・ 図示 (図面番号:) 引き抜いた杭の処理 ・ 図示 (図面番号:)									
	③ 樹木等 (3.10.1)	樹木の伐採根及び移植 ○ 行う 図示 (図面番号: A-19) ・ 行わない									
	④ 地下埋設物及び埋設配管 (3.11.1)	地下埋設物及び埋設配管の解体 ○ 行う 図示 (図面番号: M-1) ・ 行わない									
⑤ 解体撤去後の整地 (3.12.1)	・ 砕石 (0-40) にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・ 再生クラッシュラン (RC-40) にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ・ 発生土にて周辺地盤面まで埋め戻すこと。 ○撤去物跡										
4 建設廃棄物の処理	1 産業廃棄物広域認定制度 (4.4.2)	特例による広域処理 ・ 図示 (図面番号:)									
	2 最終処分 (4.4.4)	最終処分する廃棄物 ・ () 最終処分場 ・ ()									
	3 処理に注意を要する建設廃棄物 (4.5.1)	<table border="1"> <thead> <tr><th>建設廃棄物の種類</th><th>処理方法</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ CCA 処理木材</td><td></td></tr> <tr><td>・ (1) アスベスト含有石膏ボード</td><td></td></tr> <tr><td>・ (2) 石膏、カドミウム含有石膏ボード</td><td></td></tr> <tr><td>・ (1)(2) 以外の石膏ボード</td><td>・ 埋立処分 ・ 再資源化</td></tr> </tbody> </table>	建設廃棄物の種類	処理方法	・ CCA 処理木材		・ (1) アスベスト含有石膏ボード		・ (2) 石膏、カドミウム含有石膏ボード		・ (1)(2) 以外の石膏ボード
建設廃棄物の種類	処理方法										
・ CCA 処理木材											
・ (1) アスベスト含有石膏ボード											
・ (2) 石膏、カドミウム含有石膏ボード											
・ (1)(2) 以外の石膏ボード	・ 埋立処分 ・ 再資源化										
5 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査 (5.1.2)	特別管理産業廃棄物の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない									
	2 PCBを含む機器類 (5.4.3)	微量PCB、PCB含有シーリング材の分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない									
	3 廃油、廃酸、廃アルカリ (5.4.5)	・ 廃油 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃酸 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 廃アルカリ 適用箇所 図示 (図面番号:)									
	4 ダイオキシン類 (5.4.7)	サンプリング調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない 解体方法及び処分方法 ・ () ・ 図示 (図面番号:)									

6 アスベスト含有建材の除去及び処理	1 適用範囲 (6.1.1)	建築物に使用されているアスベスト含有材の処理 ・ 行う 適用箇所 図示 (図面番号:) ・ 行わない														
	2 施工調査 (6.1.2)	分析によるアスベスト含有の調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない														
	3 アスベスト粉じん濃度測定 (6.1.3)	アスベスト粉じん濃度の測定時期、測定場所及び測定点数 <table border="1"> <tr><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点数</th><th>備考</th></tr> <tr><td>処理作業中</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>処理作業後</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	測定時期	測定場所	測定点数	備考	処理作業中				処理作業後					
	測定時期	測定場所	測定点数	備考												
	処理作業中															
処理作業後																
4 アスベスト含有吹付け材の除去・処分 (6.3.2) (6.3.3)	除去工法 ・ 共通仕様書 [6.3.2] (a) ・ 図示 (図面番号:) 除去したアスベストの飛散防止措置 ・ 固化 ・ 湿潤化 除去したアスベストの処分 ・ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理															
5 アスベスト含有成形板 (6.5.3)	除去工法 (対象建材:) ・ 共通仕様書 [6.5.2] (a) ・ 図示 (図面番号:) 処分方法 (石綿含有せっこうボードを除く) ・ 埋立処分 ・ 溶融又は無害化による中間処理															
7 特殊な建設副産物の処理	1 施工調査 (7.1.3)	分析調査 ・ 行う 調査範囲 図示 (図面番号:) ・ 行わない														
	2 特殊な建設副産物 (7.3.1)	特殊な建設副産物の種類等 <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>適用箇所</th><th>回収及び処分</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ ()</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ ()</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ ()</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>・ ()</td></tr> </table>	種類	適用箇所	回収及び処分			・ ()			・ ()			・ ()		
種類	適用箇所	回収及び処分														
		・ ()														
		・ ()														
		・ ()														
		・ ()														

原図: A2

memo

check
client
architect
contractor

scale

drawing title

特記仕様書 2

project title

旧津市白銀環境清掃センター解体 (第三期) 工事

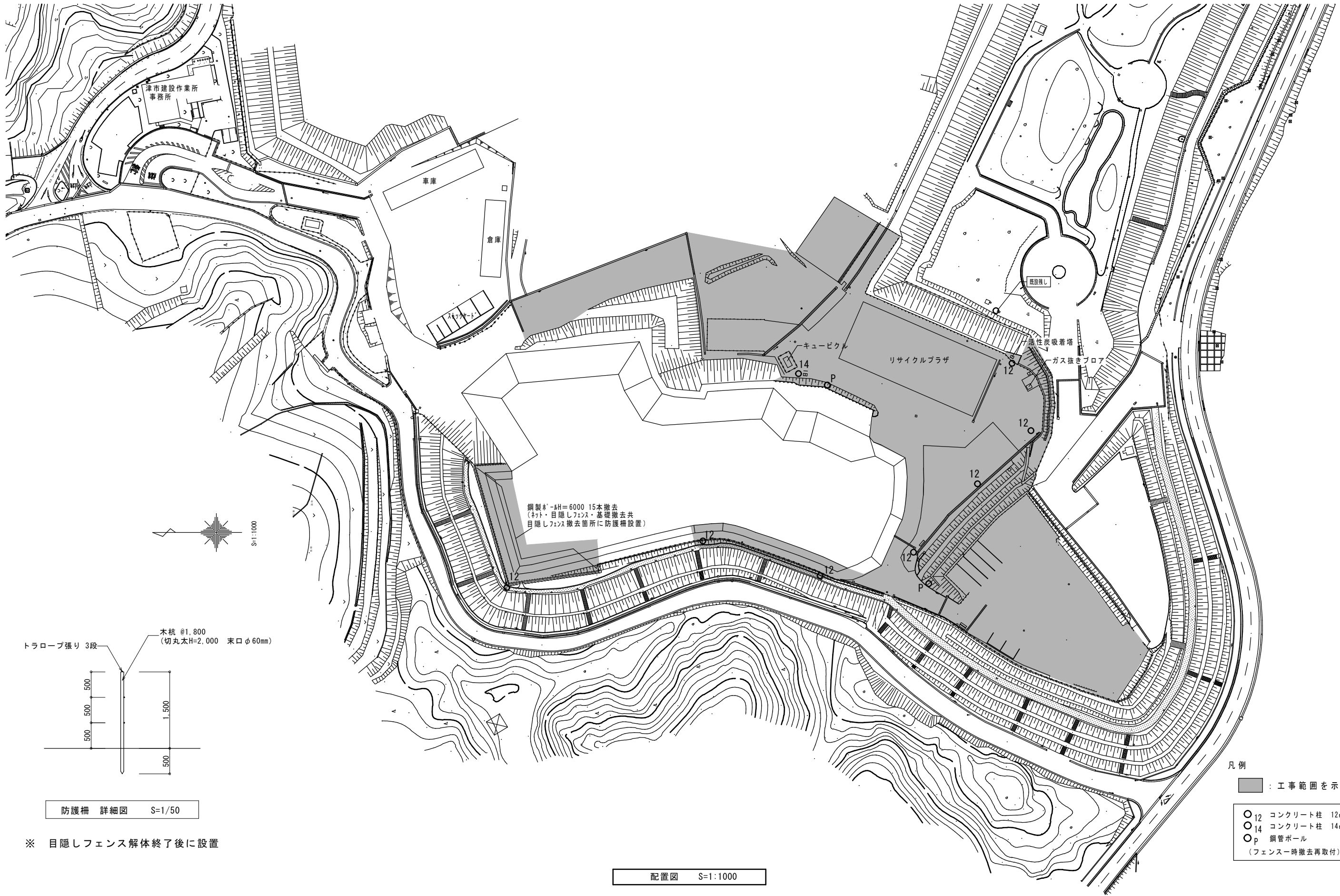
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

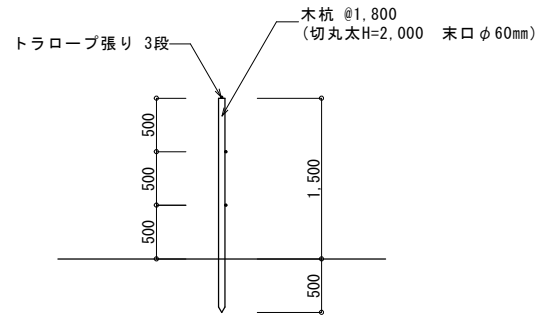
drawing no.

sheet no.

A-3



鋼製ボ-ルH=6000 15本撤去
 (ネット・目隠しフェンス・基礎撤去共
 目隠しフェンス撤去箇所に防護柵設置)



防護柵 詳細図 S=1/50

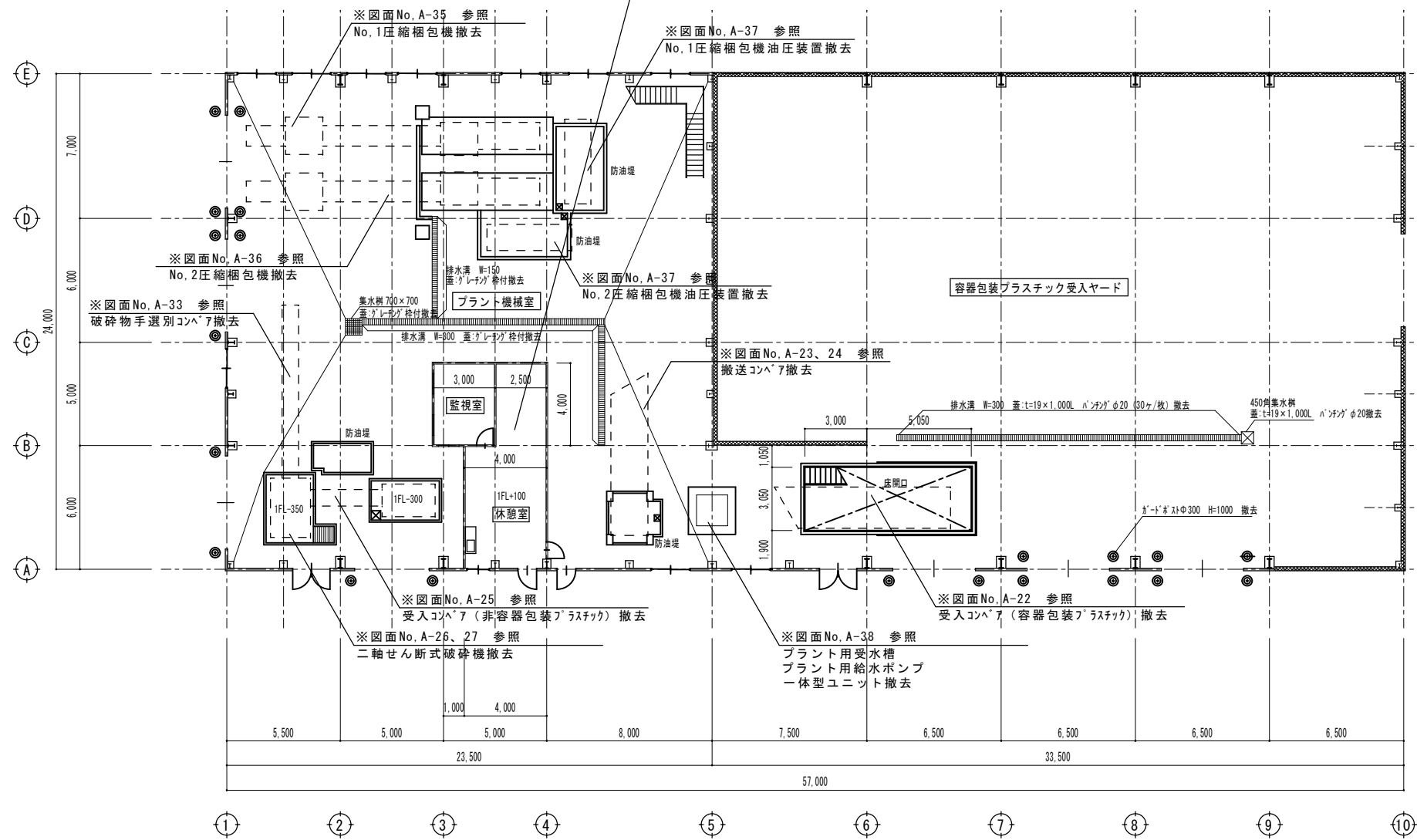
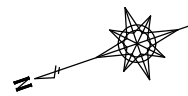
※ 目隠しフェンス解体終了後に設置

配置図 S=1:1000

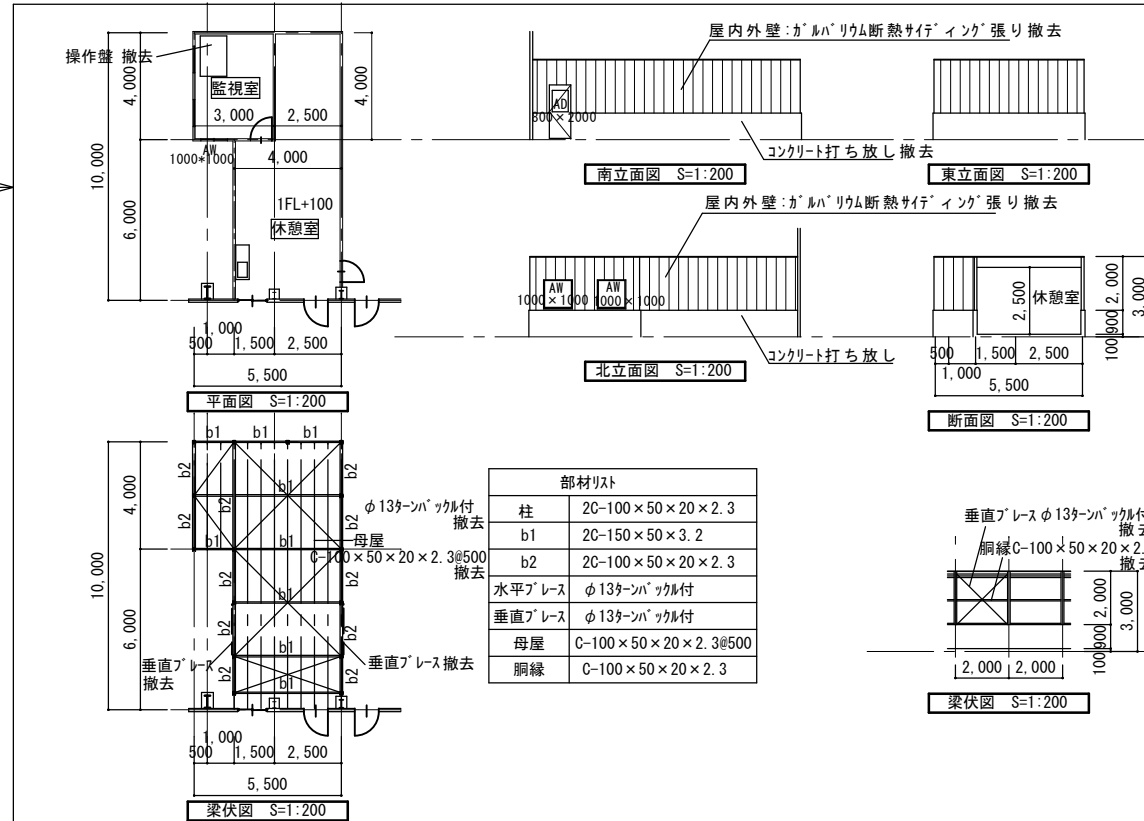
- 凡例
- : 工事範囲を示す
 - 12 コンクリート柱 12m
 - 14 コンクリート柱 14m
 - p 鋼管ポール
(フェンス一時撤去再取付)
- 撤去

原図: A2

解体施設 (建築)			解体施設 (擁壁)			解体施設 (側溝)			解体施設 (フェンス等)				
符号	施設名	構造・階数・面積	符号	擁壁名	参考図 S=1:50	符号	側溝名	参考図 S=1:30	符号	施設名	参考図 S=1:100		
	リサイクルプラザ	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 延面積 1387㎡	Ⓐ	既成品Lコン H2000 L22.000		Ⓔ	現場打側溝W500 L39.000 コンクリート蓋付		Ⓕ	ネットフェンスH1800 L23.800 (キュービカル部分)			
			Ⓑ	既成品Lコン H1000 L6.000		Ⓕ	U字側溝W300 L28.000 コンクリート蓋付					Ⓖ	キュービカル 2000x4000x2000 (E-2 参照)
			Ⓒ	既成品Lコン H1550 L128.000			Ⓖ		U字側溝W300 L9.600 コンクリート蓋付				
			Ⓓ				Ⓖ		U字側溝W300 L6.500 グレーチング蓋付				
						Ⓖ	U字側溝W300 L12.600 グレーチング蓋付						
						Ⓖ	現場打側溝W500 L29.300 コンクリート蓋付						
						Ⓖ	U字側溝W300 L12.500 一部グレーチング蓋付						
						Ⓖ	U字側溝W300 L114.500 一部グレーチング蓋付						
						Ⓖ	U字側溝W300 L25.900 グレーチング蓋付						
						Ⓖ	現場打側溝W500 L68.500 コンクリート蓋付						
						Ⓖ	U字側溝W300 L10.200						
						Ⓖ	LU型側溝W420 L108.06						
外構その他	アスファルト舗装、コンクリート舗装、擁壁、フェンス、ストックヤード、仮設便所、鉄骨柱、石垣、緑石、暗渠側溝、機械設備、その他設備等 (受変電設備を含む)												

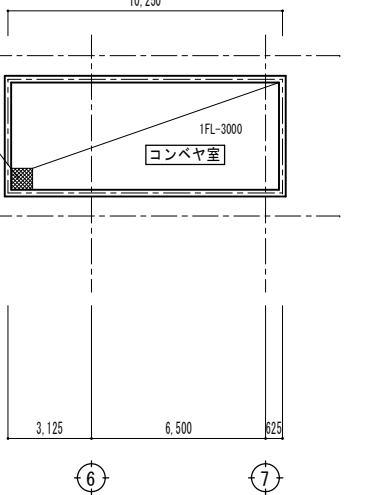
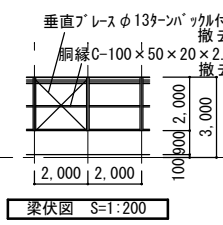


平面図 S=1:200



部材リスト

柱	2C-100×50×20×2.3
b1	2C-150×50×3.2
b2	2C-100×50×20×2.3
水平ブレース	φ133-ﾊﾞｯｸﾙ付
垂直ブレース	φ133-ﾊﾞｯｸﾙ付
母屋	C-100×50×20×2.3@500
胴縁	C-100×50×20×2.3



FL-3000 平面図 S=1:200

参考

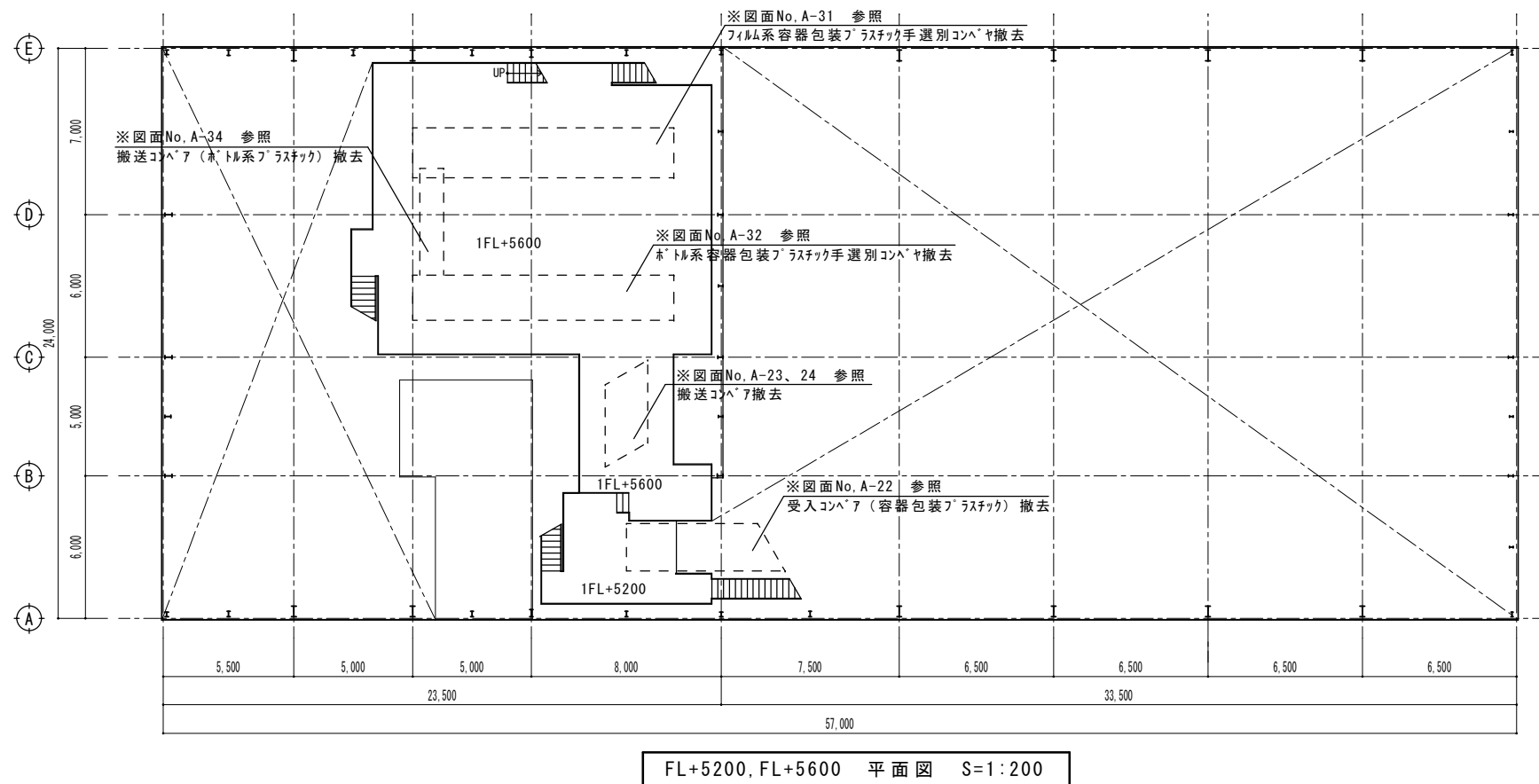
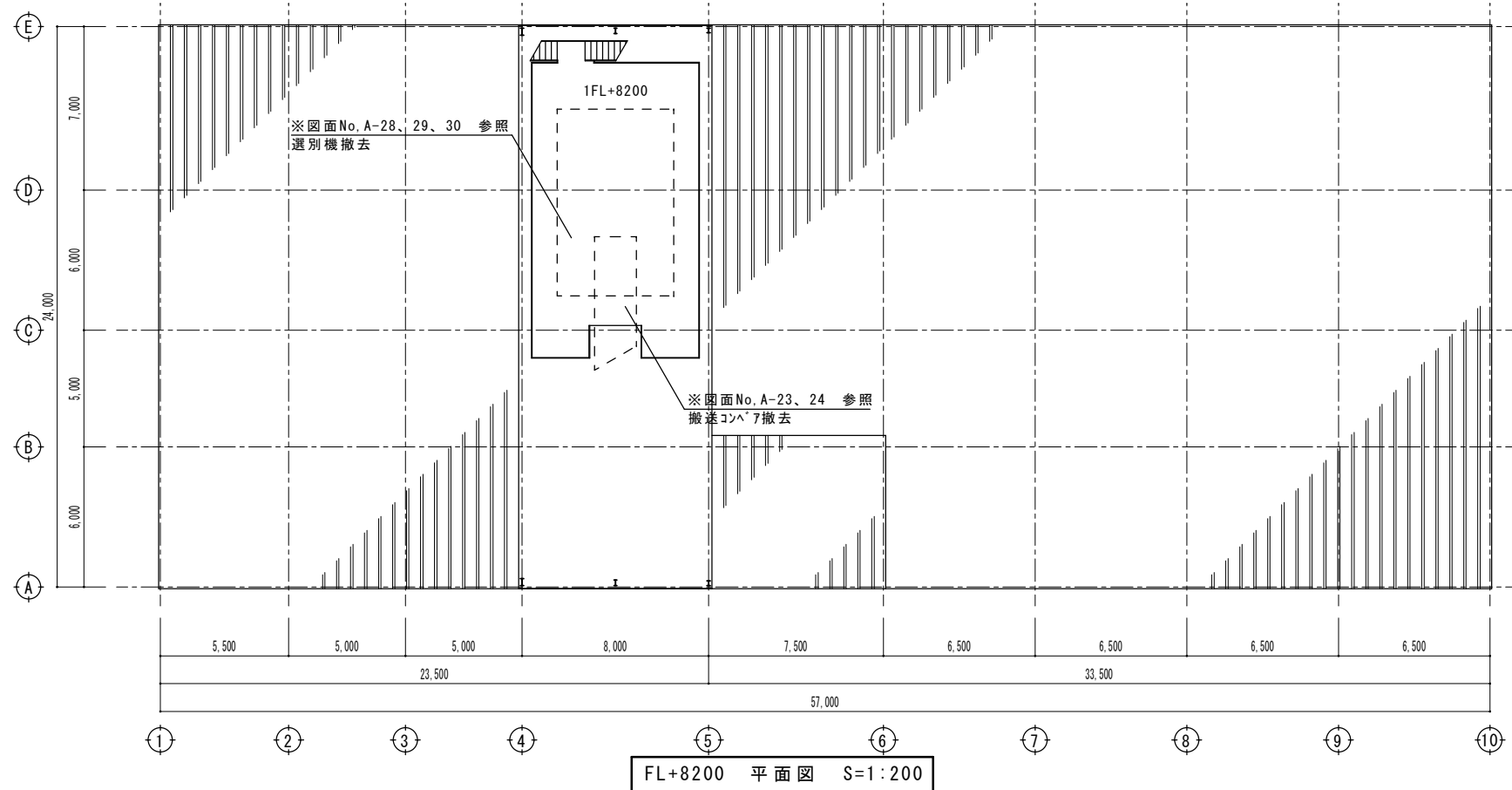
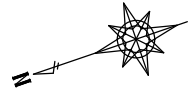
原図：A2

外部仕上

構造	屋根	外壁	開口部	備考
鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 平家建	ガルバリウム鋼板折板 (素地) t=0.6	ガルバリウム角波鋼板 (素地) t=0.4	鋼製重量電動シャッター	樋：塩ビ製
基礎：鉄筋コンクリート布基礎	無機質断熱材裏打ちt=4	ヨドサイディングI型	アルミオーバースライダーシャッター	垂鉛めっきタラップ
		腰壁：コンクリート打ち放し	鋼製開き戸 アルミ製窓	

内部仕上

階	室名	床	巾木	壁・腰壁	天井	備考
B1階	コンベヤ室	コンクリートコテ押え		コンクリート打ち放し	コンクリート打ち放し	釜場：500角
1階	プラント機械室	△		角波カラー鋼板表わし	屋根折板表わし	
	容器梱包プラスチック受け入れヤード	△		△	△	
	休憩室	ビニル床シート貼り	ソフト巾木	石膏ボードt=12.5の上クロス貼り	化粧石膏ボード張り t=12.5	
	監視室	△	△	△	△	



参考

原図：A2

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:200

drawing title
リサイクルプラザ(平面図)

project title
旧津市白銀環境清掃センター解体(第三期)工事

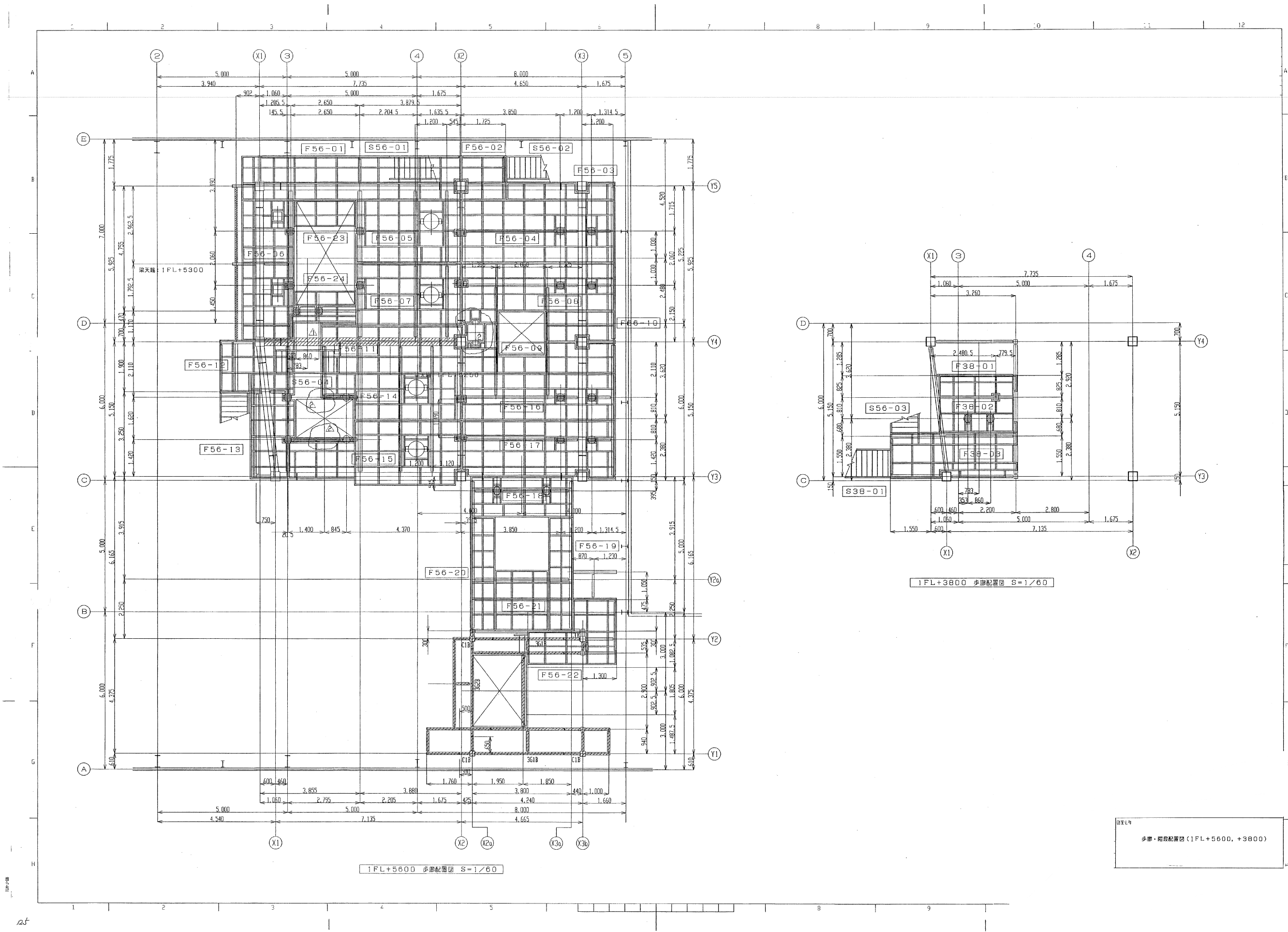
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

drawing no.

sheet no.

A-7



参考
原図：A2

memo

check
client
architect
contractor

scale

drawing title

リサイクルプラザ (歩廊・階段配置図1)

project title

旧津市白銀環境清掃センター解体 (第三期) 工事

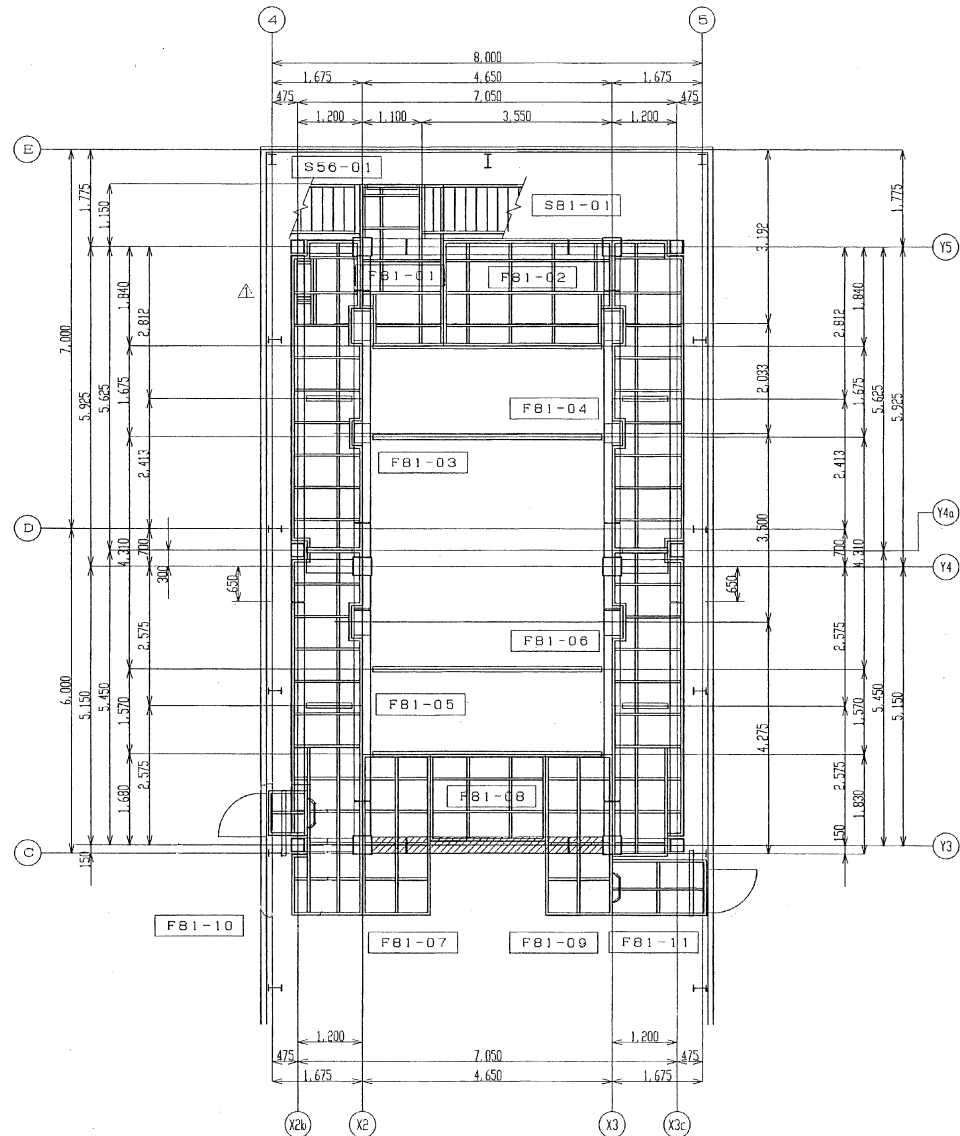
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士：山田 賢治

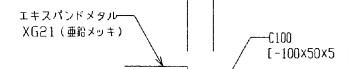
drawing no.

sheet no.

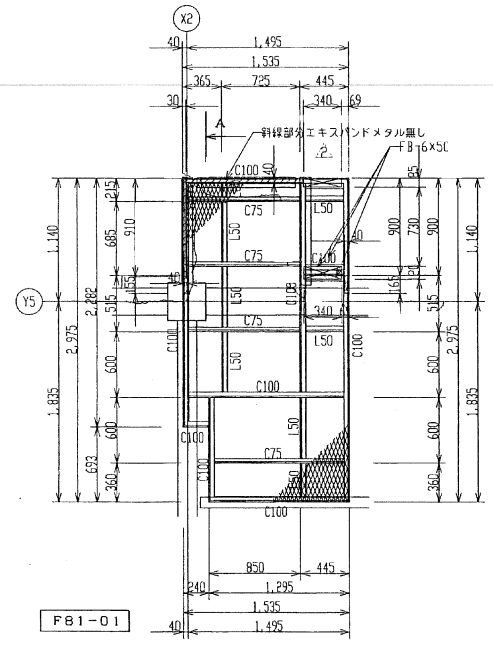
A-8



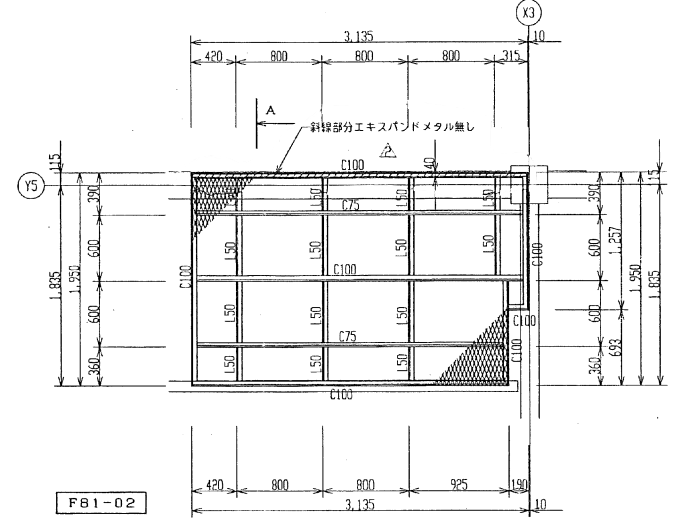
1FL+8100 歩廊配置図 S=1/60



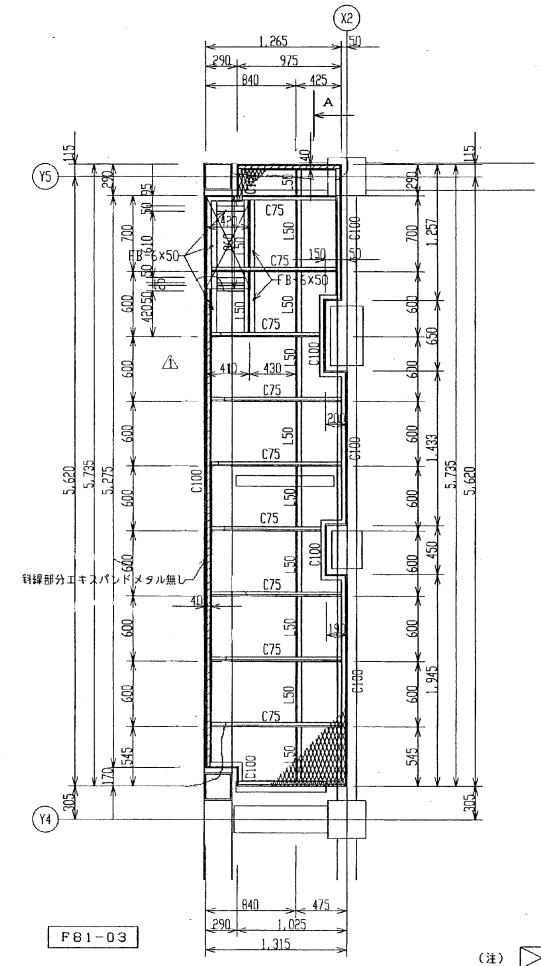
A矢視 S=1/5



FB1-01



FB1-02



FB1-03

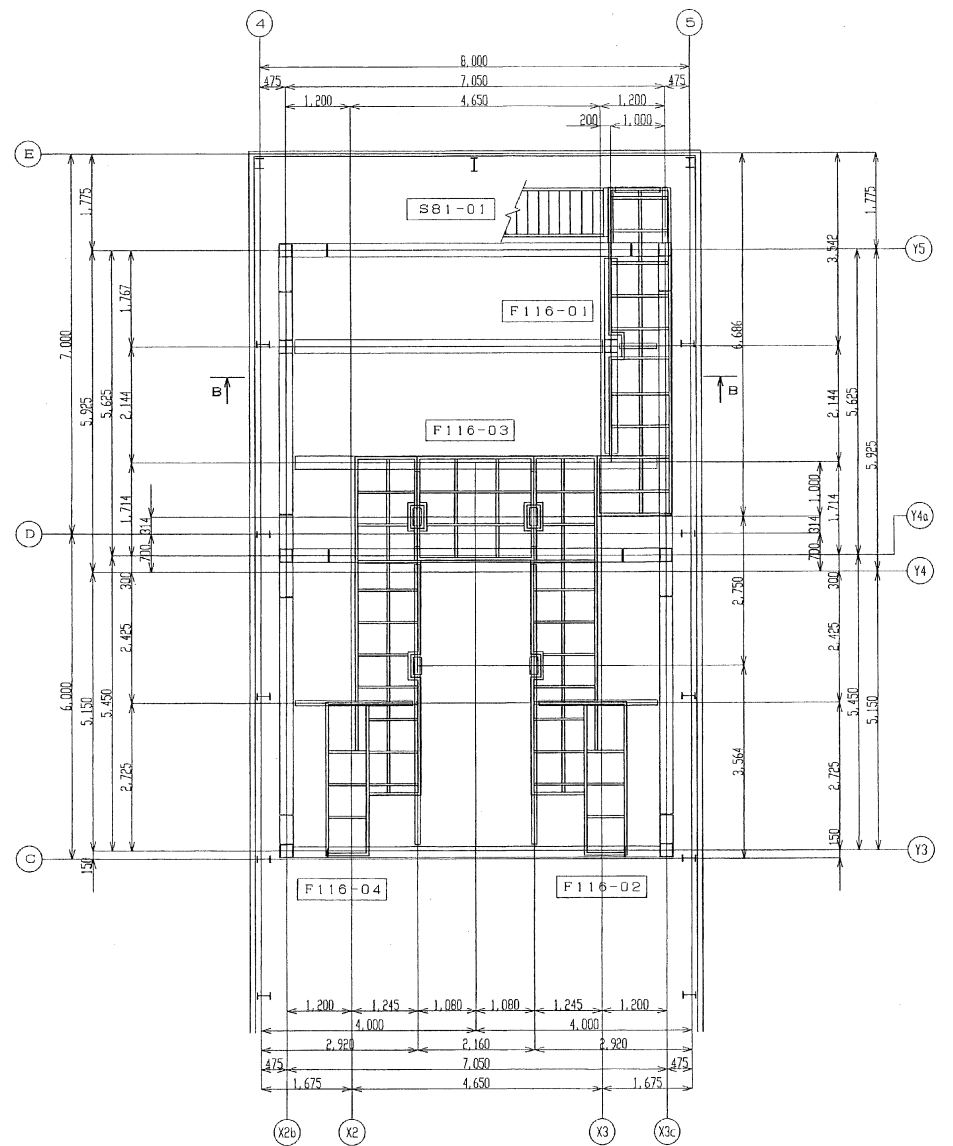
FB1-03						
符号	名称	材料	常備予備	合計	単	合計
			1式	分数量	質量 (Kg)	備 考
C100	C-100x50x5	SS400	14.83	9.36	138.81	
C75	C-75x40x5	SS400	10.82	6.92	74.87	
L50	L-50x50x6	SS400	7.03	4.43	31.14	
	床板 (エキスパンドメタル)	SS400	6.55	13.7	89.74	XG21 (歩廊メッキ)
	FB-6x50	SS400	3.38	2.36	7.98	
合計						342.54
FB1-02						
C100	C-100x50x5	SS400	13.55	9.36	126.83	
C75	C-75x40x5	SS400	6.10	6.92	42.21	
L50	L-50x50x6	SS400	6.84	4.43	30.30	
	床板 (エキスパンドメタル)	SS400	5.86	13.7	80.28	XG21 (歩廊メッキ)
合計						279.62
FB1-01						
C100	C-100x50x5	SS400	13.17	9.36	123.27	
C75	C-75x40x5	SS400	4.57	6.92	31.62	
L50	L-50x50x6	SS400	3.87	4.43	17.14	
	床板 (エキスパンドメタル)	SS400	4.24	13.7	58.09	XG21 (歩廊メッキ)
	FB-6x50	SS400	1.34	2.36	3.16	
合計						233.28
符号	名称	材料	常備予備	合計	単	合計
			1式	分数量	質量 (Kg)	備 考

(注) ⊠ 床板開口部分を示す

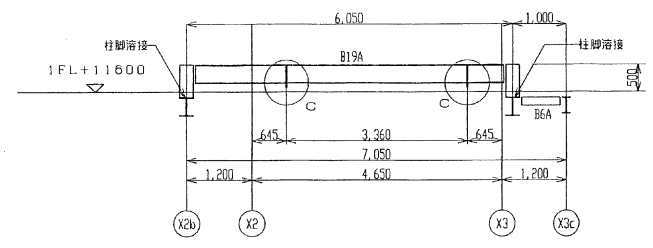
歩廊・階段配置図 (1FL+8100)
パネル詳細図 (1FL+8100)

参考

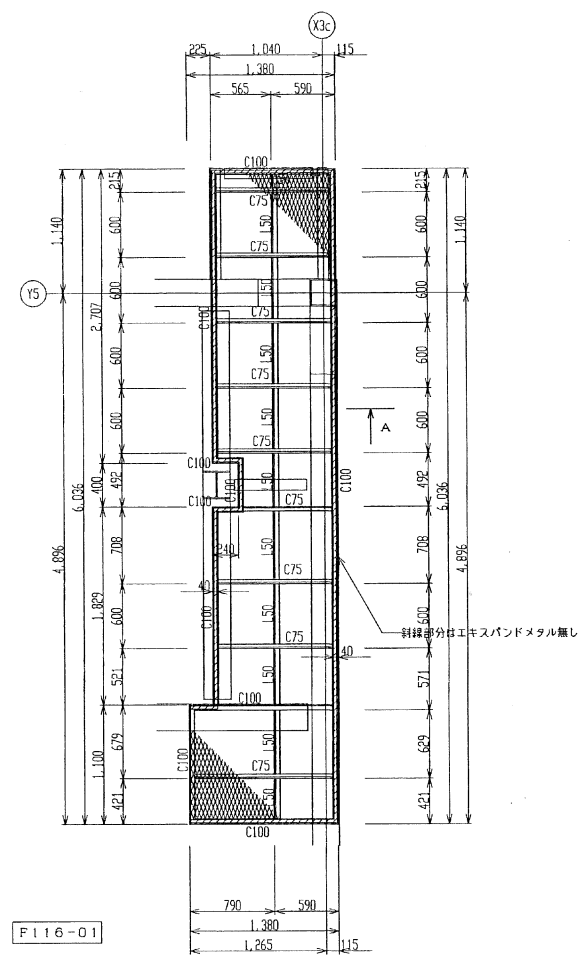
原図: A2



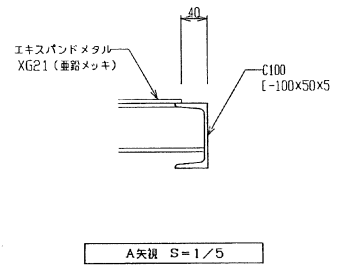
1FL+11600 歩廊配置図 S=1/60



B-B矢視

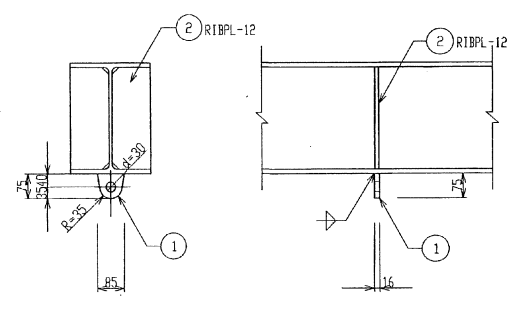


F116-01



(注) ☒ は床板開口部分を示す

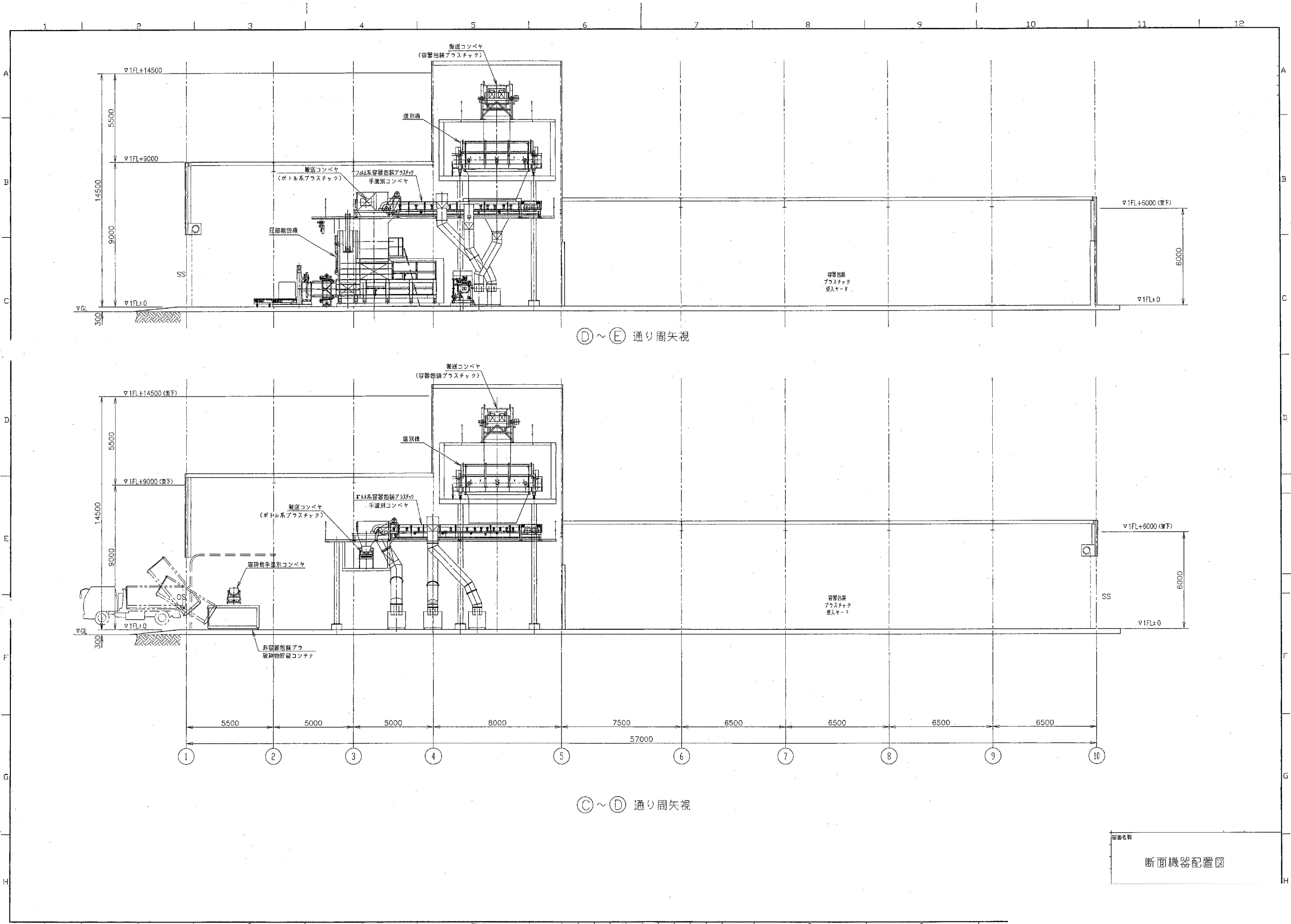
符号	名 称	材 料	常備予備		備 考
			1式	分数量	
2	R1BPL-12	SS400	0.15	94.2	14.13
1	PL-16 (リフティングラグ)	SS400	0.01	125.6	1.26
合計					15.39
F116-01					
C100	L-100x50x5	SS400	16.47	9.36	154.16
C75	L-75x40x5	SS400	10.61	6.92	73.42
L50	L-50x50x6	SS400	6.04	4.43	26.76
	床板 (エキスバンドメタル)	SS400	6.56	13.7	89.87
					XG21 (垂鉛メッキ)
合計					344.21
符号	名 称	材 料	常備予備		備 考
			1式	分数量	



C部詳細 S=1/10

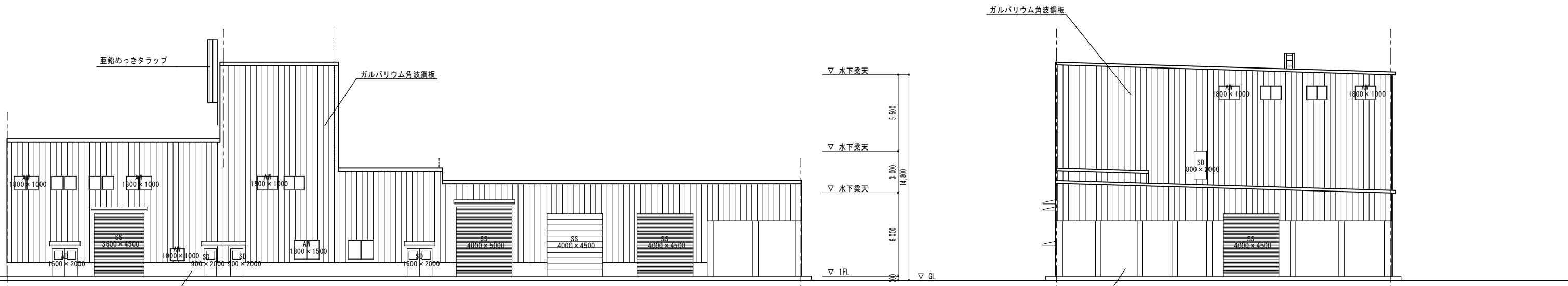
歩廊・階段配置図 (1FL+11600)
パネル詳細図 (1FL+11600)

参考
原図: A2



参考

原図：A2

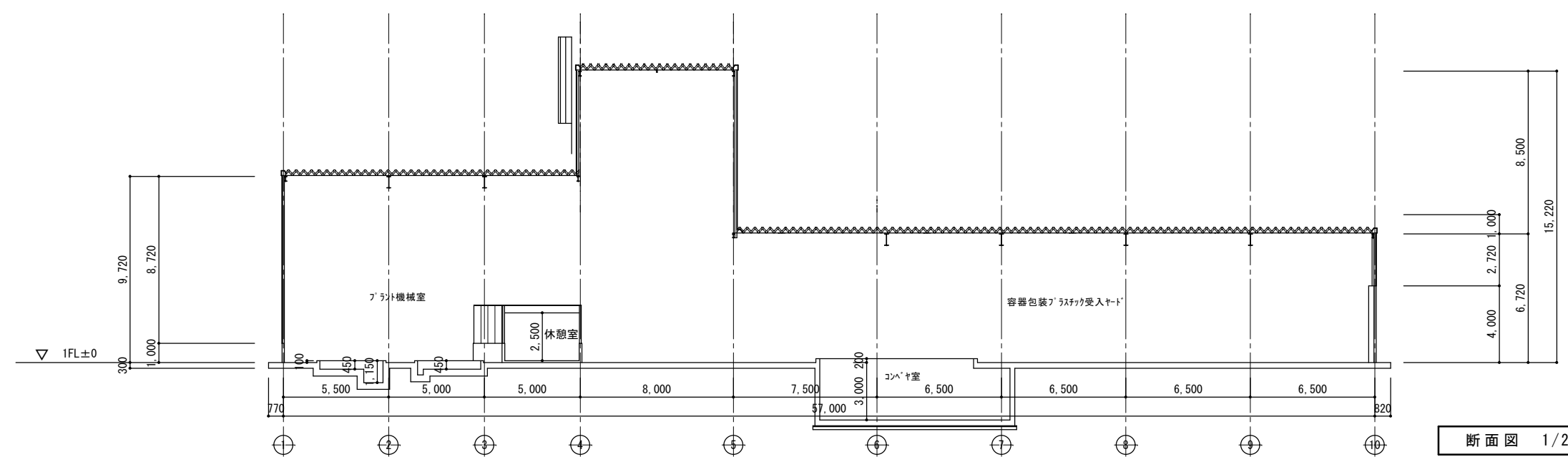


西 立面図 1/200

南 立面図 1/200

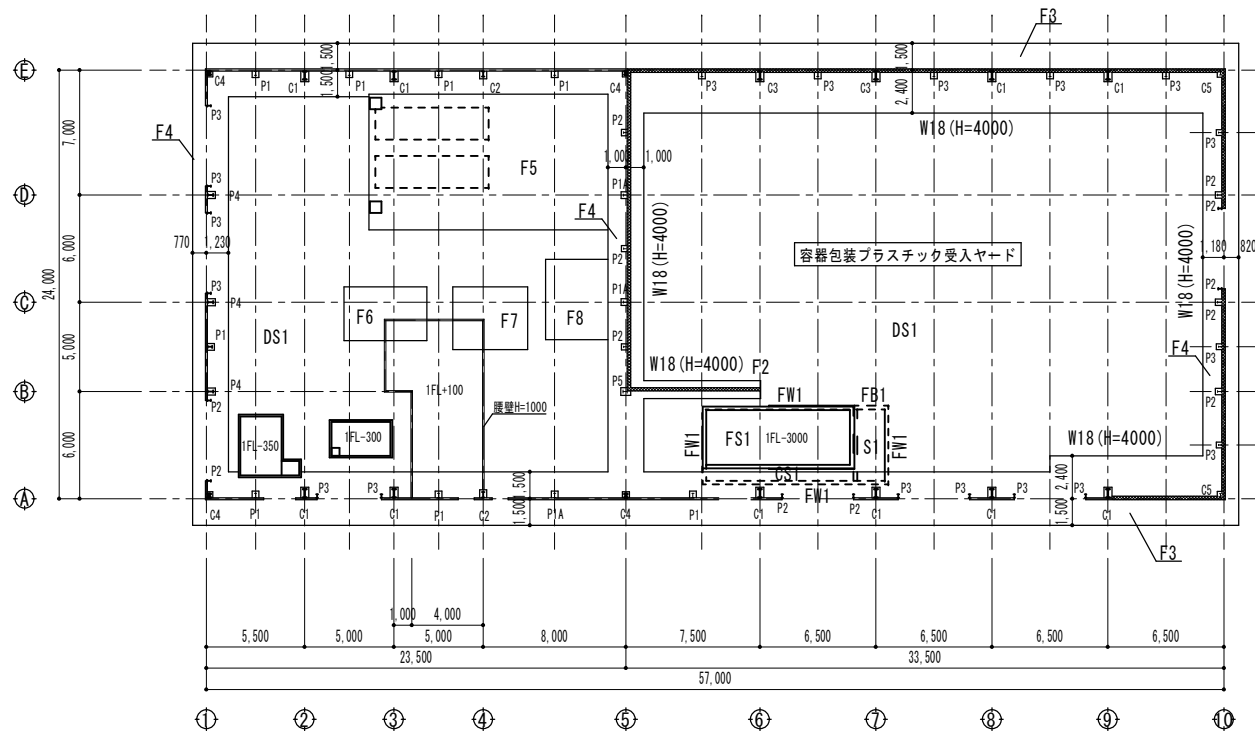
東 立面図 1/200

北 立面図 1/200



断面図 1/200

参考
原図: A2

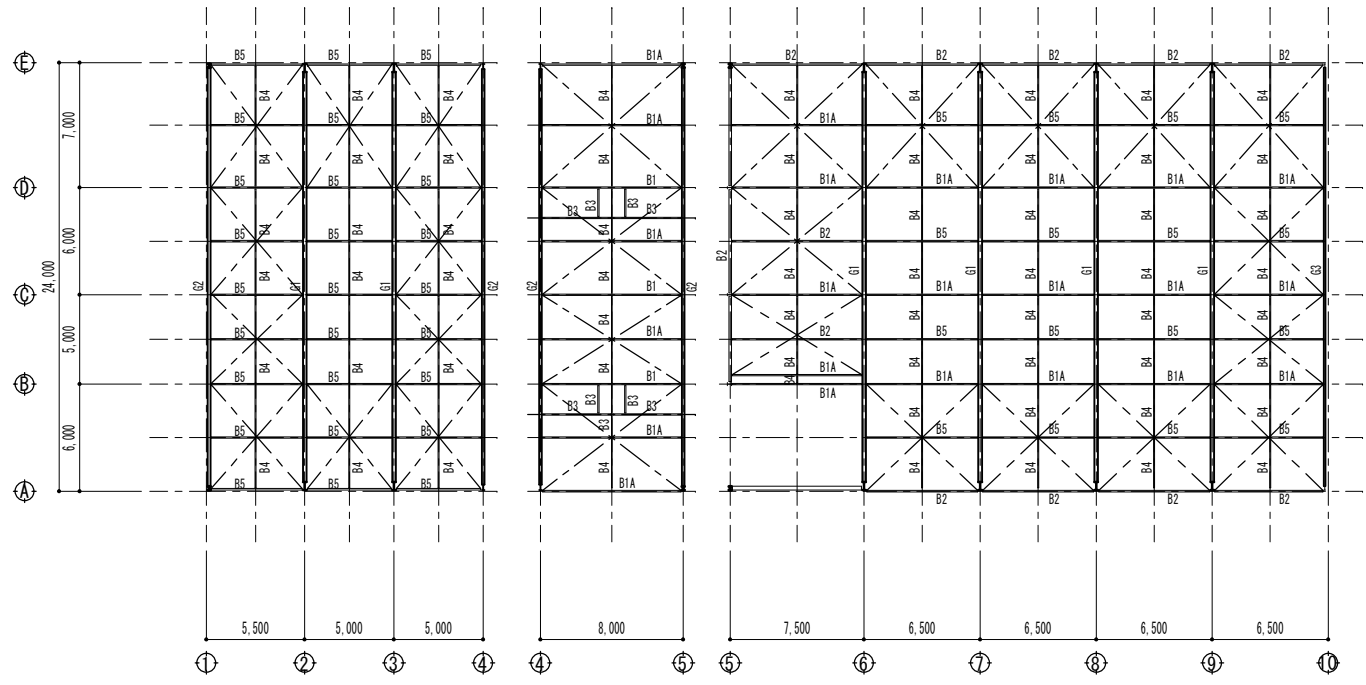


基礎伏図 S=1:300

特記なき限り下記による
 ・基礎はF1とする
 ・土間スラブはDS1とする
 ・壁はW15 (H=1000)とする

基礎リスト

符号	基礎形状 (XxYxH)	X方向配筋	Y方向配筋	差し筋
F5	13,385x7,520x300	上筋 D22@100	上筋 D13@200	差し筋縦横共 D13@1000
		下筋 D22@100	下筋 D13@200	
F6	4,600x3,000x300	上筋 D13@200	上筋 D13@200	差し筋縦横共 D13@1000
		下筋 D19@150	下筋 D19@150	
F7	4,200x3,500x300	上筋 D13@200	上筋 D13@200	差し筋縦横共 D13@1000
		下筋 D19@150	下筋 D19@150	
F8	3,500x4,500x300	上筋 D13@200	上筋 D13@200	差し筋縦横共 D13@1000
		下筋 D19@150	下筋 D19@150	



梁伏図 S=1:300

部材リスト

C1	H-450×200×9×14	HB1	H-250×125×6×9
C2	H-300×150×6.5×9	HB2	H-200×100×5.5×8
C3	H-400×200×8×13	HB3	H-150×75×5×7
C4	H-194×150×6×9	HB4	C-100×50×20×2.3
C5	H-200×100×5.5×8	P1, P1A	H-250×125×6×9
		P2	H-200×100×5.5×8
G1	H-600×200×11×17	P3	H-150×75×5×7
G2	H-250×125×6×9	P4	H-300×150×6.5×9
G3	H-200×100×5.5×8	P5	H-244×175×7×11
B1	H-250×125×6×9	HV1	L-65×65×6
B1A	H-248×124×5×8	HV2	1-M22 (JISターナックル付)
B2	H-200×100×5.5×8	V1	L-75×75×6
B3	[-125×65×6×8	V2	L-65×65×6
B4	H-100×50×5×7	V3	2[-125×65×6×8
B5	H-175×90×5×8	胴縁	C-100×50×20×2.3 @910

参考

原図：A2

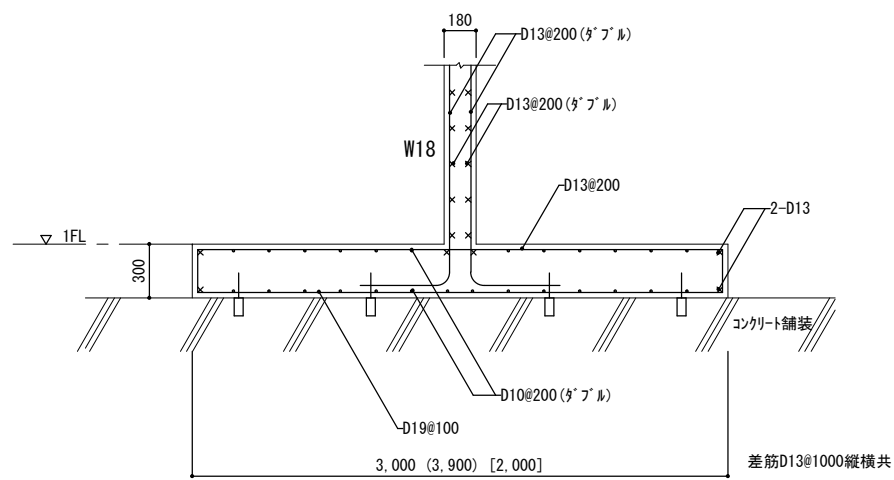
鉄骨柱基礎詳細図

符号	C1	C2	C3	C4	C5
部材	H-450x200x9x14	H-300x150x6.5x9	H-400x200x8x13	H-194x150x6x9	H-200x100x5.5x8
断面					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>h=1,000部分</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>h=4,000部分</p> </div> </div>				
BxD	500x700	450x600	500x700	450x500	400x500
主筋	12-D19 14-D22	8-D19	14-D22 8-D19	8-D19	8-D19
HOOP	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200
符号	P1 (P1A)	P2	P3	P4	P5
部材	H-250x125x6x9	H-200x100x5.5x8	H-150x75x5x7	H-300x150x6.5x9	H-244x175x7x11
断面					
BxD	425x550	400x500	375x450	450x600	425x550
主筋	8-D19	8-D19	8-D19	8-D19	8-D19
HOOP	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200

参考

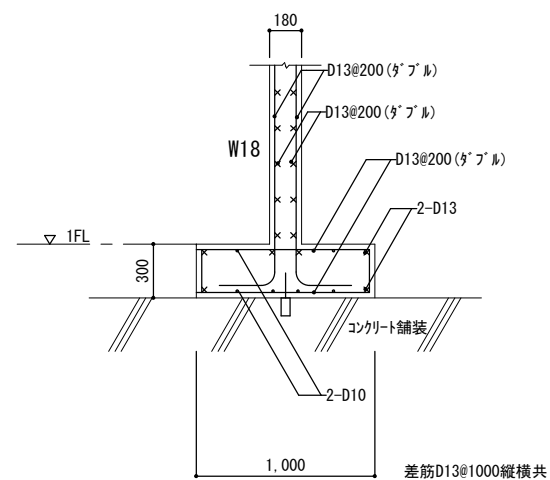
原図：A2

F1・F3・F4 (F5・F6・F7・F8は別紙別表による)

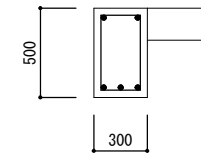


() 内寸法 : F3を示す [] 内寸法 : F4を示す

F2

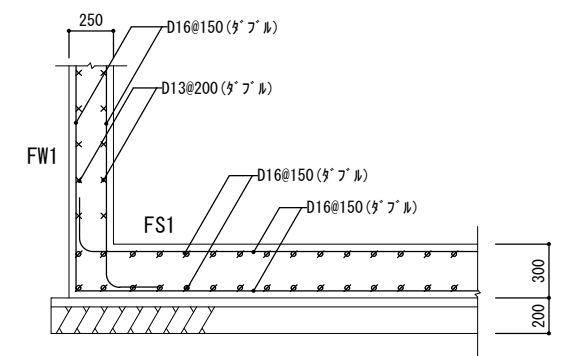


FB1

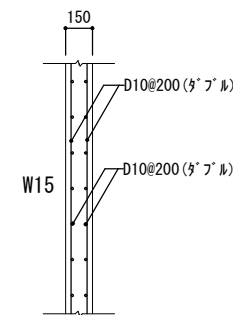


上端筋 2-D19
下端筋 3-D19
スターラップ □-D10@200

FS1・FW1

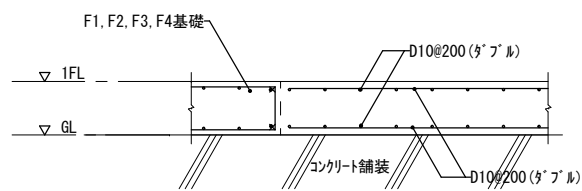


W15

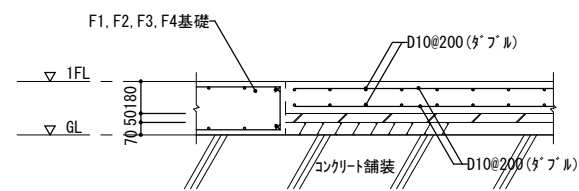


土間配筋 DS1

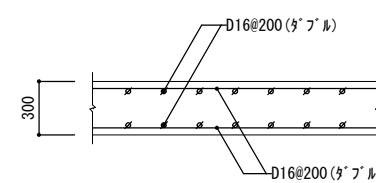
(プラント機械室側)



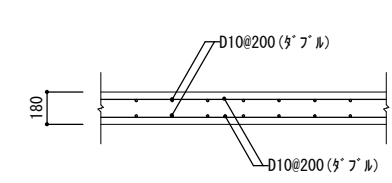
(受入ヤード)



CS1



S1



参考

原図 : A2

memo
2008

check
client
architect
contractor

scale
S=1:30

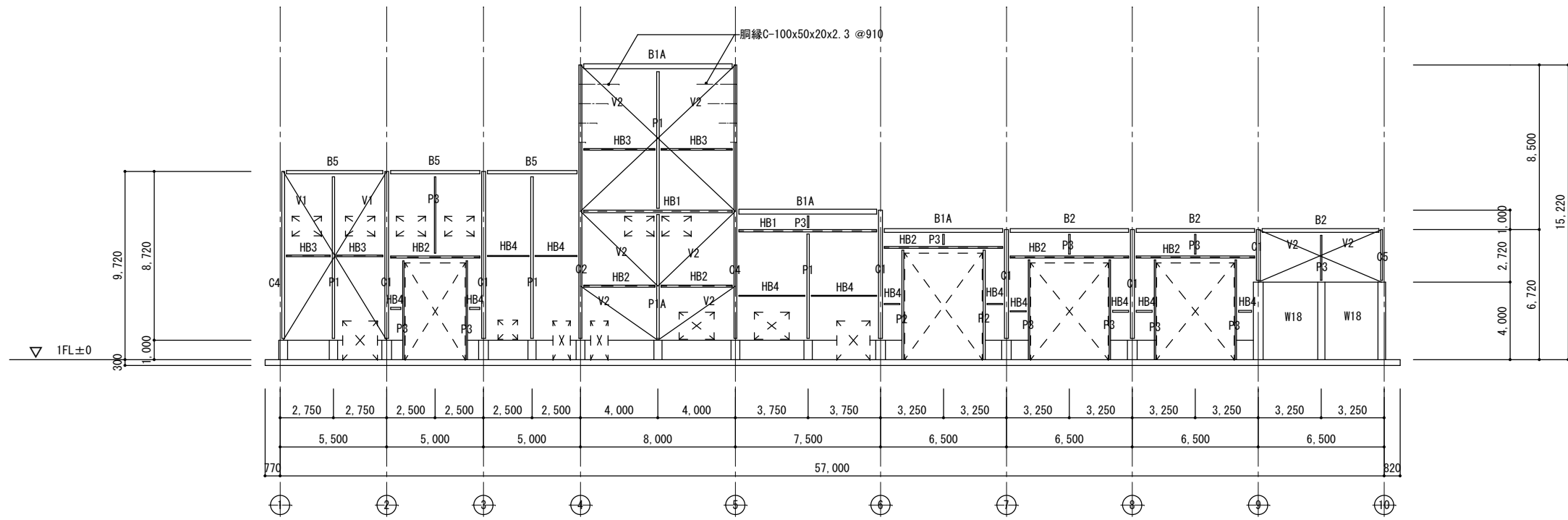
drawing title
リサイクルプラザ (プラスチック)
基礎詳細図2

project title
旧津市白銀環境清掃センター解体 (第三期) 工事

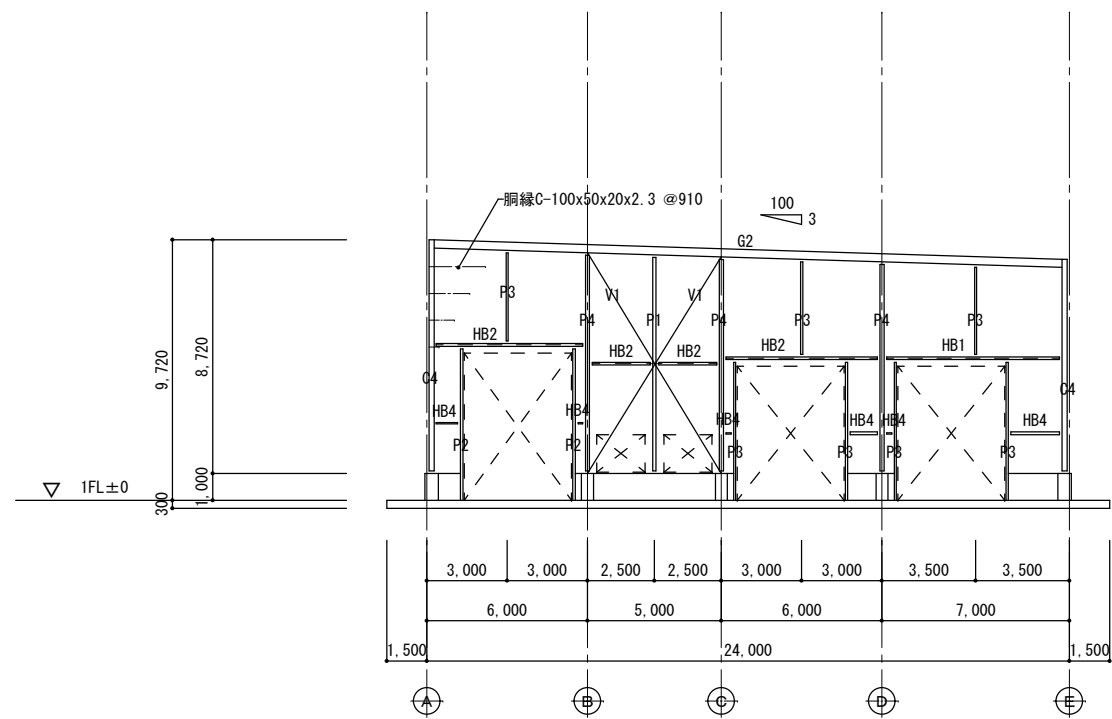
Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士 : 山田 賢治

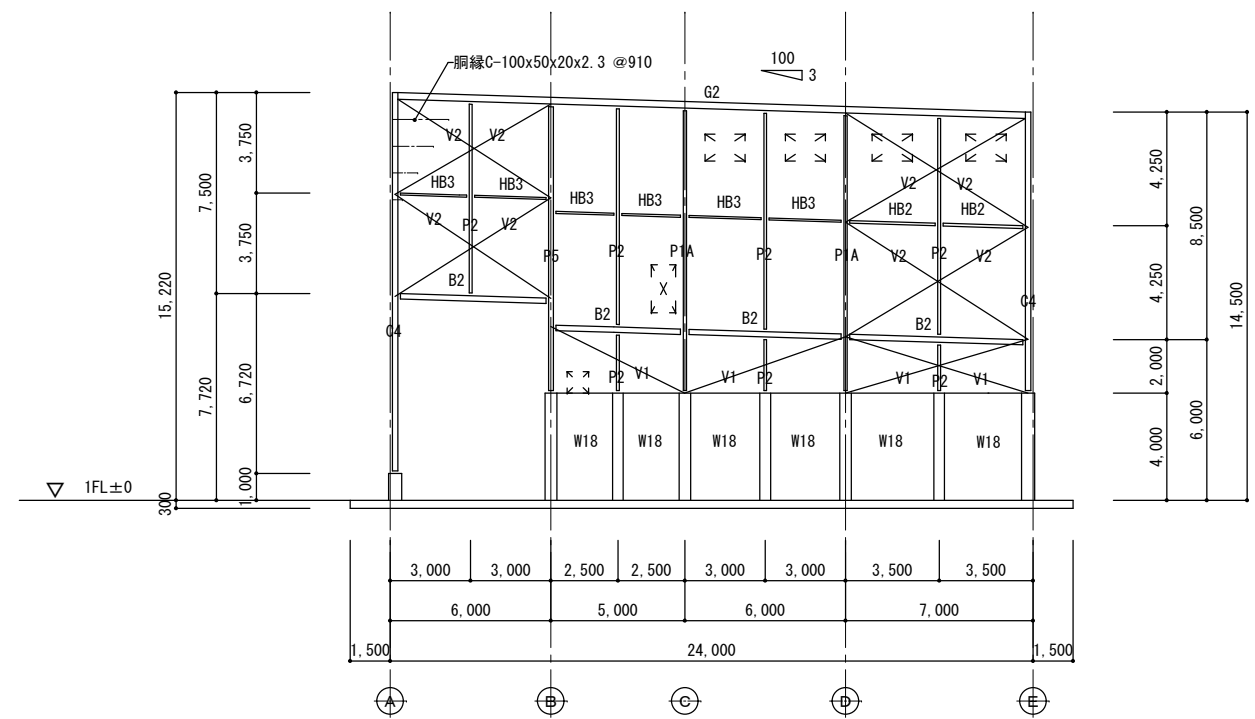
drawing no.
sheet no.
A-15



A通り



1通り



5通り

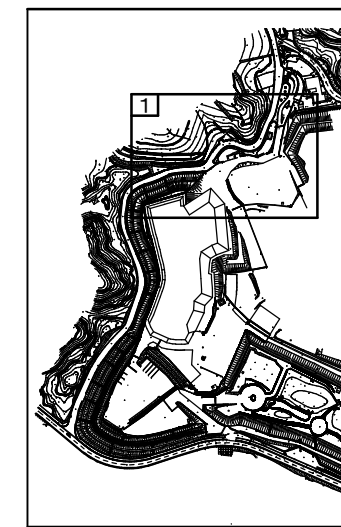
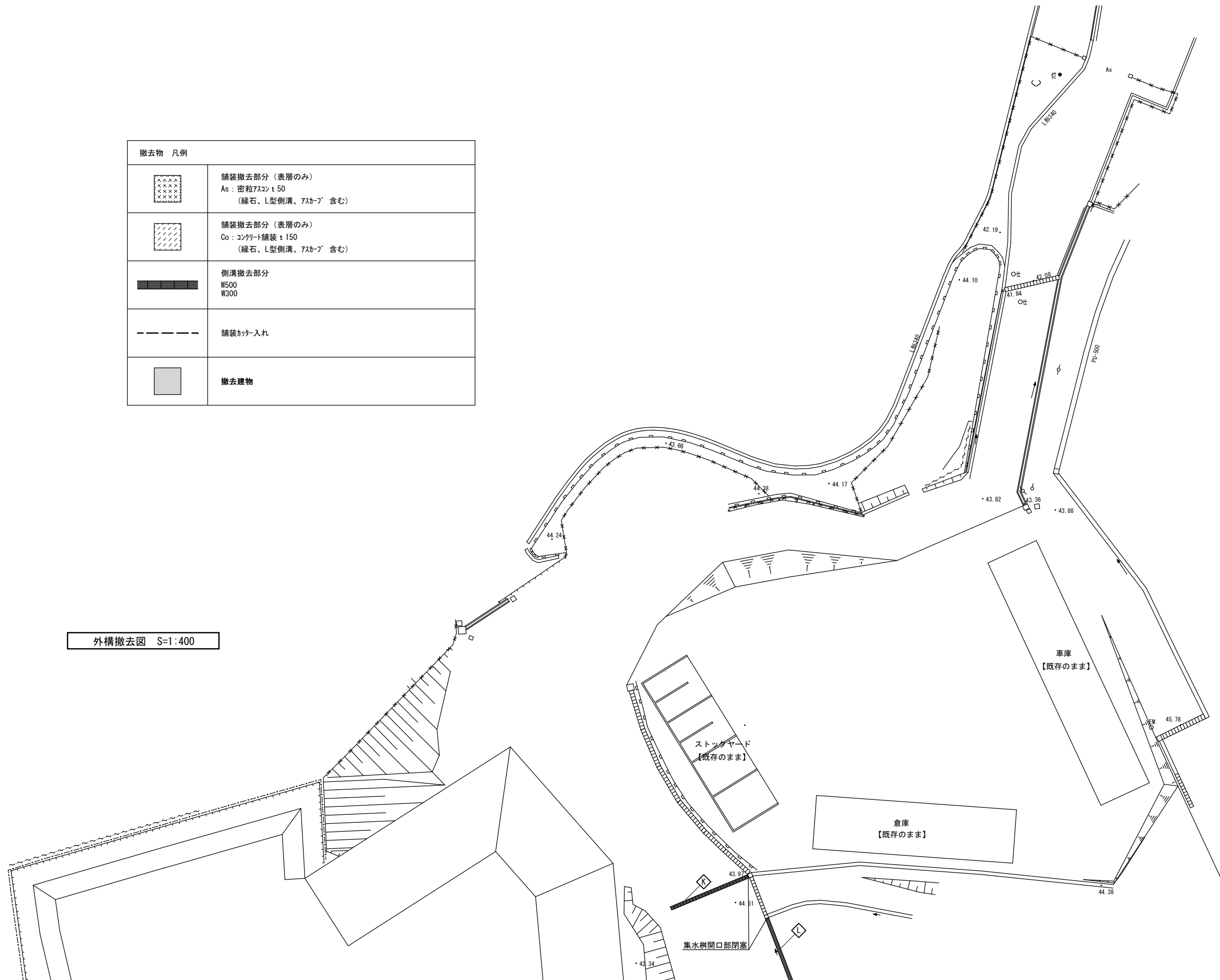
軸組図 S=1:200

参考
原図：A2



撤去物 凡例	
	舗装撤去部分 (表層のみ) As: 密粒75コン t 50 (縁石、L型側溝、7スカープ 含む)
	舗装撤去部分 (表層のみ) Co: コンクリート舗装 t 150 (縁石、L型側溝、7スカープ 含む)
	側溝撤去部分 W500 W300
	舗装カッター入れ
	撤去建物

外構撤去図 S=1:400



キープラン

原図: A2

memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:400

drawing title
外構撤去図 1

project title
旧津市白銀環境清掃センター解体 (第三期) 工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

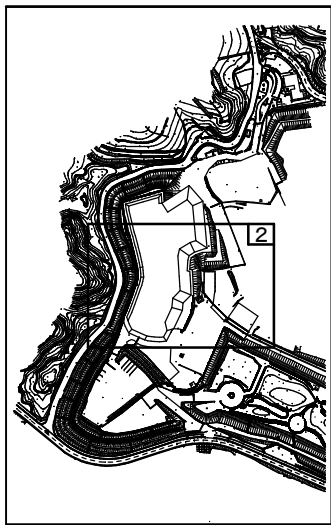
drawing no.

sheet no.

A-17



撤去物 凡例	
	舗装撤去部分 (表層のみ) As : 密粒アスコン t 50 (縁石、L型側溝、フスカブ 含む)
	舗装撤去部分 (表層のみ) Co : コンクリート舗装 t 150 (縁石、L型側溝、フスカブ 含む)
	側溝撤去部分 W500 W300
	舗装カッター入れ
	撤去建物



キープラン

原図 : A2

外構撤去図 S=1:400



memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:400

drawing title
外構撤去図 2

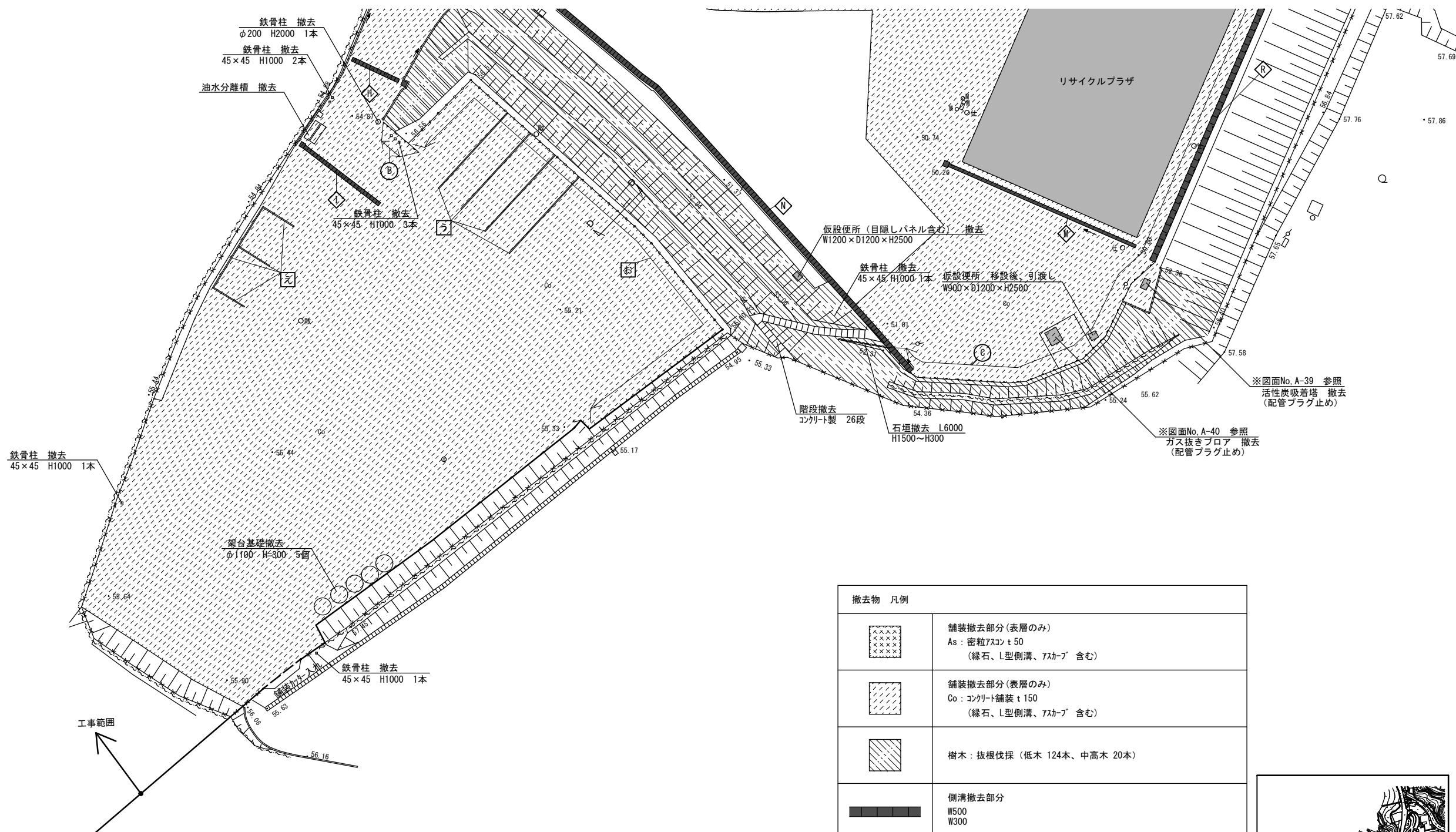
project title
旧津市白銀環境清掃センター解体 (第三期) 工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士 : 山田 賢治

drawing no.

sheet no.
A-18



鉄骨柱 撤去
45×45 H1000 1本

鉄骨柱 撤去
φ200 H2000 1本
鉄骨柱 撤去
45×45 H1000 2本
油水分離槽 撤去

鉄骨柱 撤去
45×45 H1000 3本

仮設便所 (目隠しパネル含む) 撤去
W1200×D1200×H2500

鉄骨柱 撤去
45×45 H1000 1本
仮設便所 移設後、引渡し
W900×D1200×H2500

階段撤去
コンクリート製 26段

石垣撤去 L6000
H1500~H300

※図面No. A-39 参照
活性炭吸着塔 撤去
(配管プラグ止め)

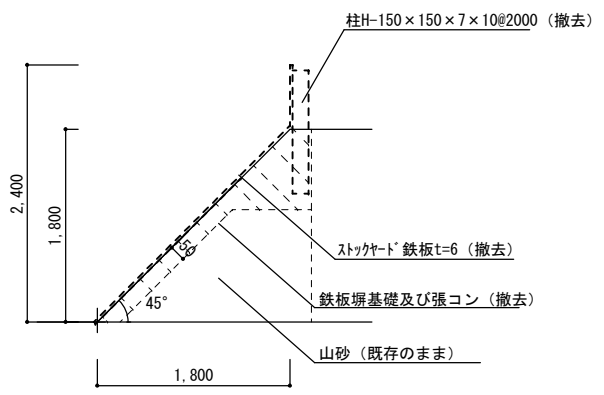
※図面No. A-40 参照
ガス抜きフロア 撤去
(配管プラグ止め)

梁台基礎撤去
φ1100 H=300 5個

鉄骨柱 撤去
45×45 H1000 1本

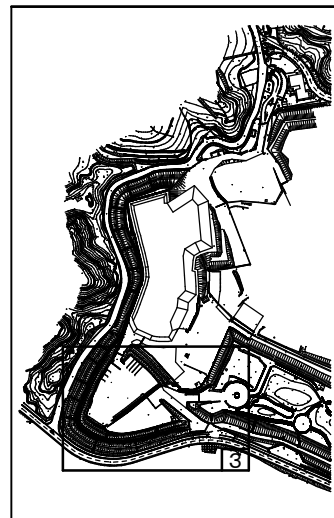
工事範囲

撤去物 凡例	
	舗装撤去部分 (表層のみ) As: 密粒アスコン t50 (縁石、L型側溝、フスカブ 含む)
	舗装撤去部分 (表層のみ) Co: コンクリート舗装 t150 (縁石、L型側溝、フスカブ 含む)
	樹木: 抜根伐採 (低木 124本、中高木 20本)
	側溝撤去部分 W500 W300
	舗装かッター入れ
	撤去建物



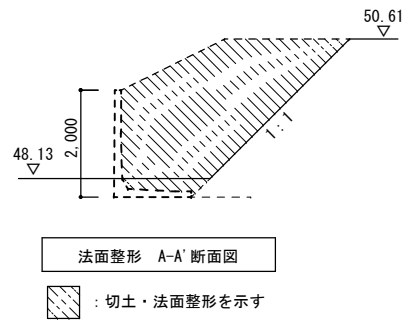
D-D' 矢視図 S=1:50

外構撤去図 S=1:400



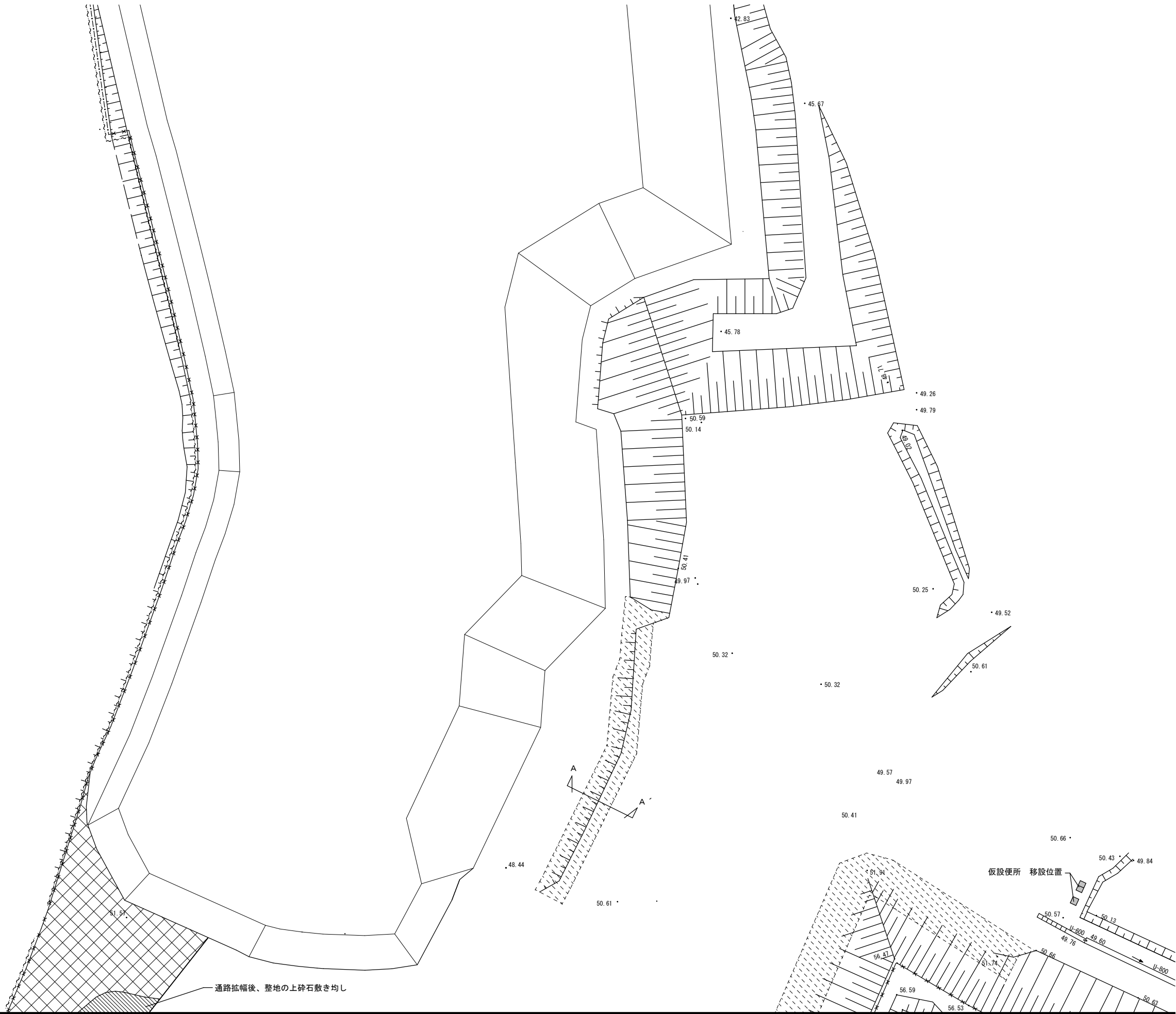
キープラン

原図: A2



- 凡例
- ▨ : 法面整形部分を示す
 - ▩ : 碎石敷き均し部分を示す
 - ** ** : 標高はA'は参考とする。

原図 : A2



memo

check
client
architect
contractor

scale
S=1:400

drawing title
撤去後配置図 1

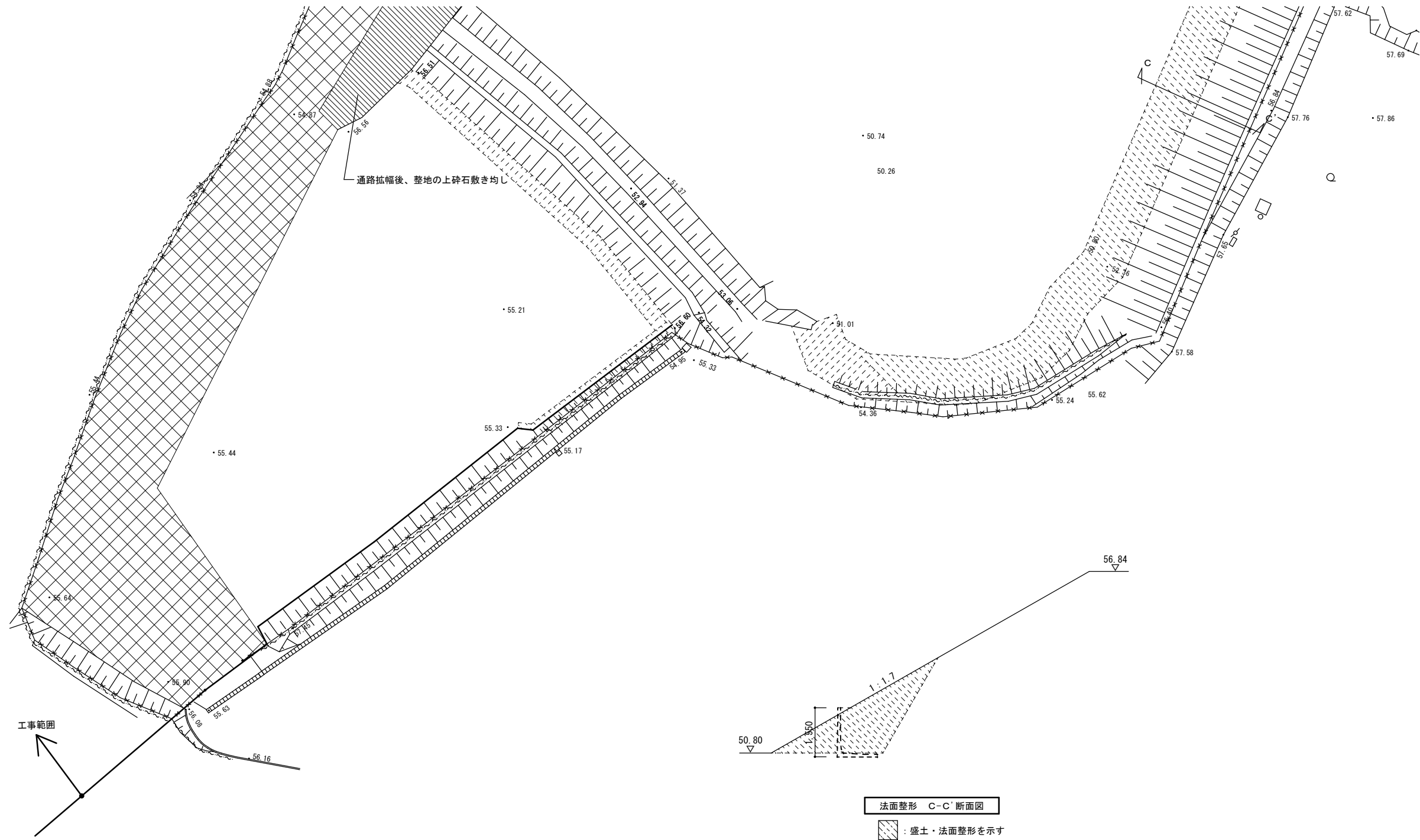
project title
旧津市白銀環境清掃センター解体（第三期）工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士 : 山田 賢治

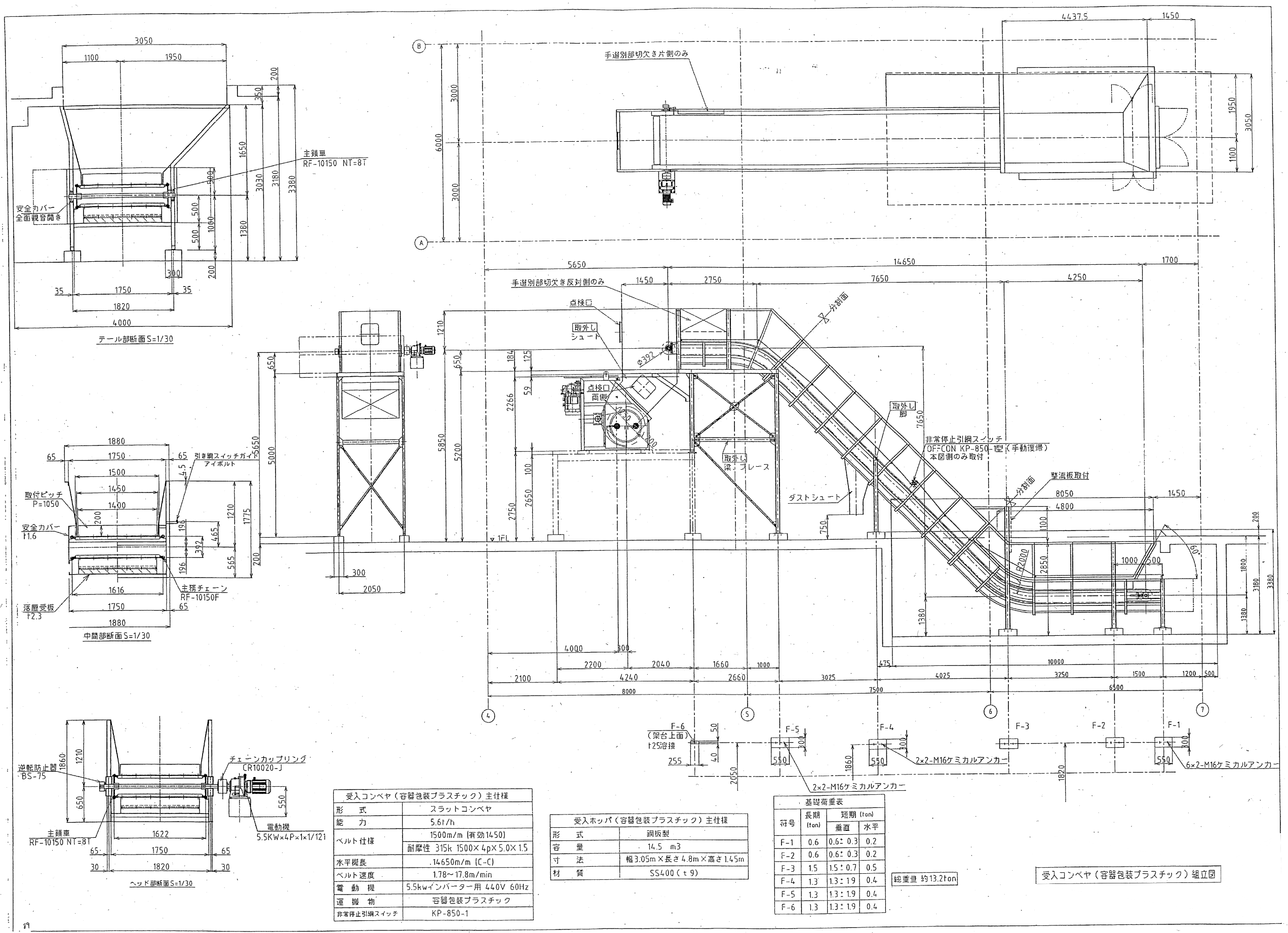
drawing no.

sheet no.
A-20



- 凡例
- : 法面整形部分を示す
 - : 碎石敷き均し部分を示す
- *** : 標高は参考とする。

原図 : A2



形式	スラットコンベヤ
能力	5.6t/h
ベルト仕様	1500m/m (有効1450)
水平段長	14.650m/m (C-C)
ベルト速度	1.78~17.8m/min
電動機	5.5kwインバーター用 440V 60Hz
運搬物	容器包装プラスチック
非常停止引綱スイッチ	KP-850-1

形式	鋼板製
容量	14.5 m ³
寸法	幅3.05m×長さ4.8m×高さ1.45m
材質	SS400 (t9)

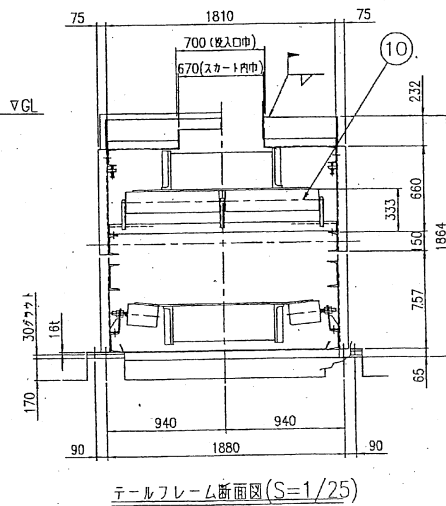
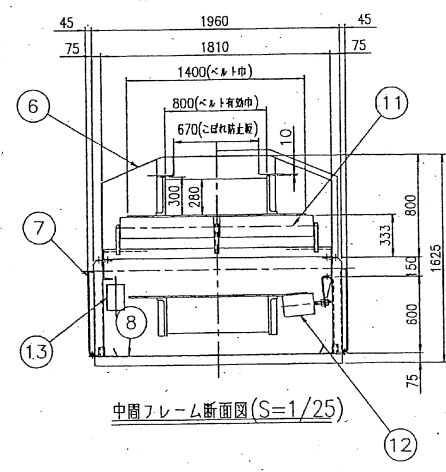
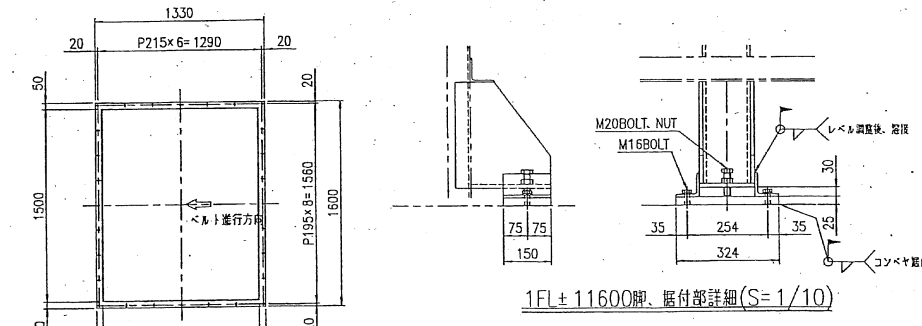
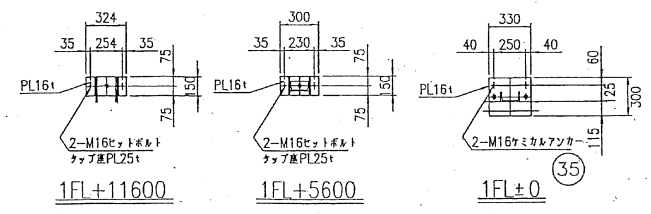
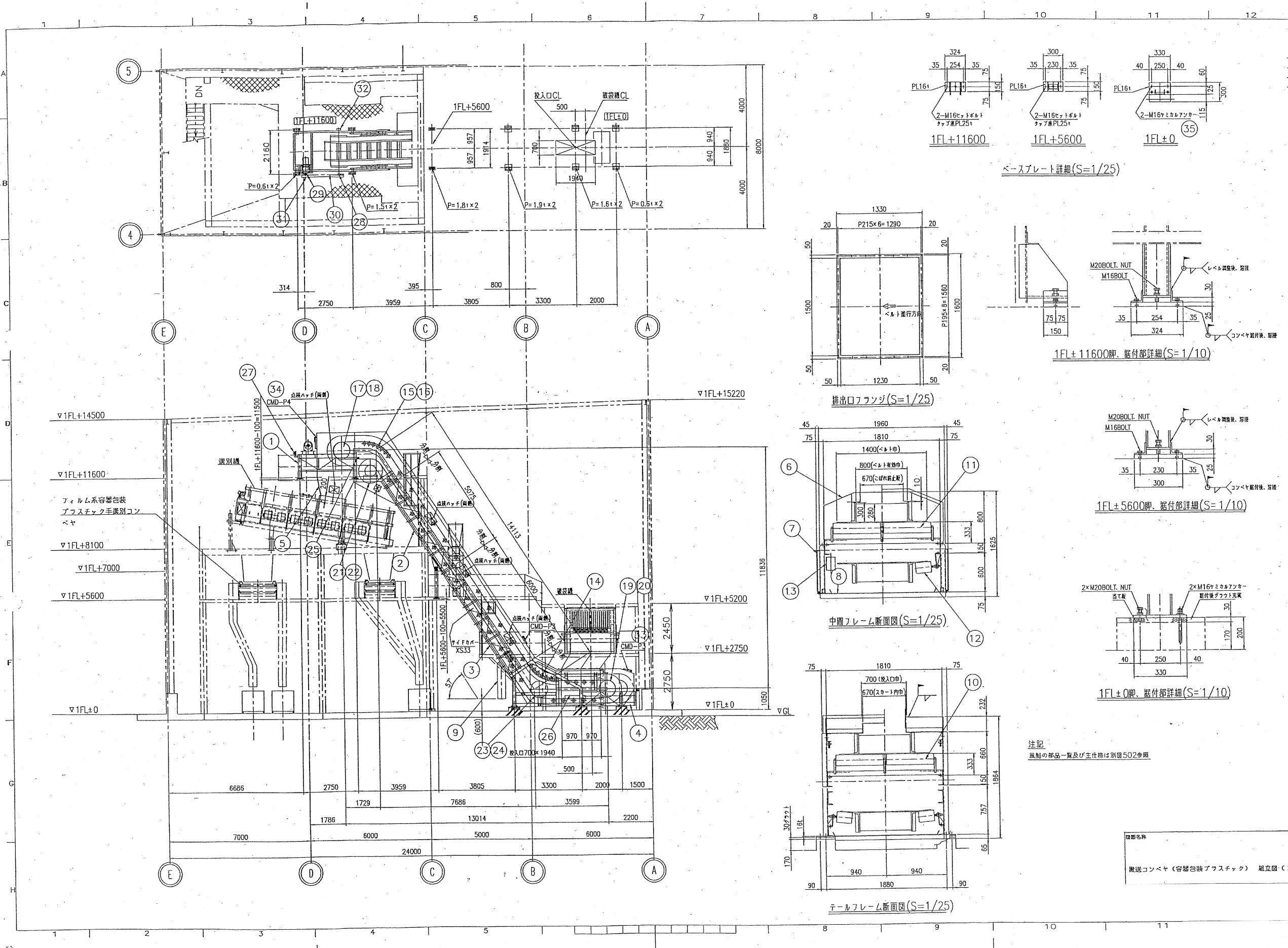
符号	短期 (ton)		
	長期 (ton)	垂直	水平
F-1	0.6	0.6:0.3	0.2
F-2	0.6	0.6:0.3	0.2
F-3	1.5	1.5:0.7	0.5
F-4	1.3	1.3:1.9	0.4
F-5	1.3	1.3:1.9	0.4
F-6	1.3	1.3:1.9	0.4

総重量 約13.2ton

受入コンベヤ (容器包装プラスチック) 組立図

参考

原図: A2



注記
 風船の部品一覧及び仕様は別図502参照

図面名称
 搬送コンベヤ (容器包装プラスチック) 組立図 (1)

参考
 原図: A2

品番	品名	材質	型式 仕様	数量	図番
01	ヘッドフレーム	SS400	[200x80x7.5,[150x75x6.5,L75x6	1	
02	中間フレーム(上)	SS400	[150x75x6.5,L75x6	1	
03	中間フレーム(下)	SS400	[150x75x6.5,L75x6	1	
04	テールフレーム	SS400	[200x80x7.5,[150x75x6.5,L75x6	1	
05	ヘッドシュート	SS400	PL4.5 PL3.2	1	
06	上部カバー	SS400	PL3.2	1式	
07	サイドカバー	SS400	XS-33 L40x3	1式	
08	落塵板	SS400	PL3.2	1式	
09	落塵シュート	SS400	PL3.2	1	
10	フラットインパクトローフ	SS	JFKC-2140	4	
11	フラットキャリアローフ	SS	JFC-2140	12	
12	リターンローフ(単ローフ)	SS	φ165.2x240L	36	
13	サイドローフ	SS	φ139x200L	6	
14	変角ローフ(下部単ローフ)	SS	φ165.2x240L	14	
15	変角馬の背ローフ	SS	φ165.2x1550L	7	
16	フランジユニット	市販品	CM-UCFL208	14	
17	ヘッドブリー(W-リカムゴムフックソグ)	SS	φ812.8+24x1550L	1	
18	ピローユニット	市販品	15C-UCP318	2	
19	テールブリー	SS	φ812.8x1550L	1	
20	ストレッチャーユニット	市販品	5CM-UCM316-60	2	
21	変角デスクローフ	SS	φ1200xφ560	1	
22	ピローユニット	市販品	15CM-UCP316	2	
23	リターン変角ブリー	SS	φ812.8x1550L	1	
24	ピローユニット	市販品	15CM-UCP316	2	
25	ビータクリナー	市販品	NVC-1400W	1	
26	V形スクレーパー	SS400 NBR	1500L	1	
27	非常停止引網スイッチ	市販品	松島機械研究所 FLAW-31	2	
28	ブリー側チェーンホイール	市販品	#120x30T	1	
29	モーター側チェーンホイール	市販品	#120x17T	1	
30	駆動チェーン	市販品	#120	1	
31	チェーンカバー	SS400	PL2.3	1	
32	逆転防止器	市販品	橋本 BS-75 φD=75	1	
33	点検窓	市販品	橋本バルク CMD-P3	10	
34	点検窓	市販品	橋本バルク CMD-P4	1	
35	ケミカルアンカー	市販品	M16用	12	

主仕様	
形式	フレクスibelベルトコンベヤ(急傾斜)
能力	5.6t/h (225m ³ /h) (γ=0.025t/m ³)
搬送物	容器包装プラスチック
ベルト仕様	XOE630耐油 1400w×4+1×4.0×2.0 FX300S, TCS280, P500, NB800, R225
水平機長	13014mm
揚程	11836mm
傾斜角度	0° -57° -0°
ベルト速度	30~90m/min
電動機	7.5kw (インバーター用) 440V60Hz
付属品	非常引網スイッチ×2個、逆転防止器

図面名称
搬送コンベヤ(容器包装プラスチック) 組立図(2)

参考

原図: A2

memo

check
client
architect
contractor

scale

drawing title

機械設備(3)

project title

旧津市白銀環境清掃センター解体(第三期)工事

Kisho
Architectural
Design Office

一級建築士 登録第146490号
一級建築士事務所 登録第1-169号
(有) 貴匠設計 Kisho Architectural Design Office
管理建築士: 山田 賢治

drawing no.

sheet no.

A-24